

金融実務のための
基礎・応用知識習得

シグマインベストメントスクール

通信教育講座 2025年度



新規
開講

- ◆ デリバティブ入門コース (Selected Edition) P7
- ◆ はじめて学ぶ「経済と金融のしくみ」入門コースP8
- ◆ 財務分析アドバンス「いい会社の見つけ方」コース..... P21
- ◆ 顧客本位の「ゴールベース資産管理」コース P33

全面
改訂

- ◆ 債券数理／デリバティブ入門コース..... P7
- ◆ テクニカル分析中級コース P13
- ◆ 金融機関のリスク管理 基礎知識コース P17
- ◆ Excelファイル付き スワップ業務Σ2級コース..... P26
- ◆ 証券化業務Σ3級コース..... P28
- ◆ シニアPB資格取得コース..... P36

2025 年度 通信教育講座 目 次

シグマインベストメントスクールの教育体系	2
講座一覧	3
講座紹介	6
受講要領	37
個人情報の取扱いについて	38
受講申込書 [法人申込用]	39
シグマベイスキャピタル株式会社 事業案内	40

通信教育トップページ

<https://www.sigbase.co.jp/correspondence/index.html>



通信教育 講座一覧はこちらからご覧いただけます

<https://www.sigbase.co.jp/correspondence/courselist.html>



eラーニングの特長

シグマインベストメントスクールの eラーニングは、パソコンおよびスマートフォンで学習することが可能です。平日は通勤時にスマートフォンで、休日は自宅のパソコンで、というようにあなたのスタイルに合わせた学習が可能です。

サンプル教材をご提供します

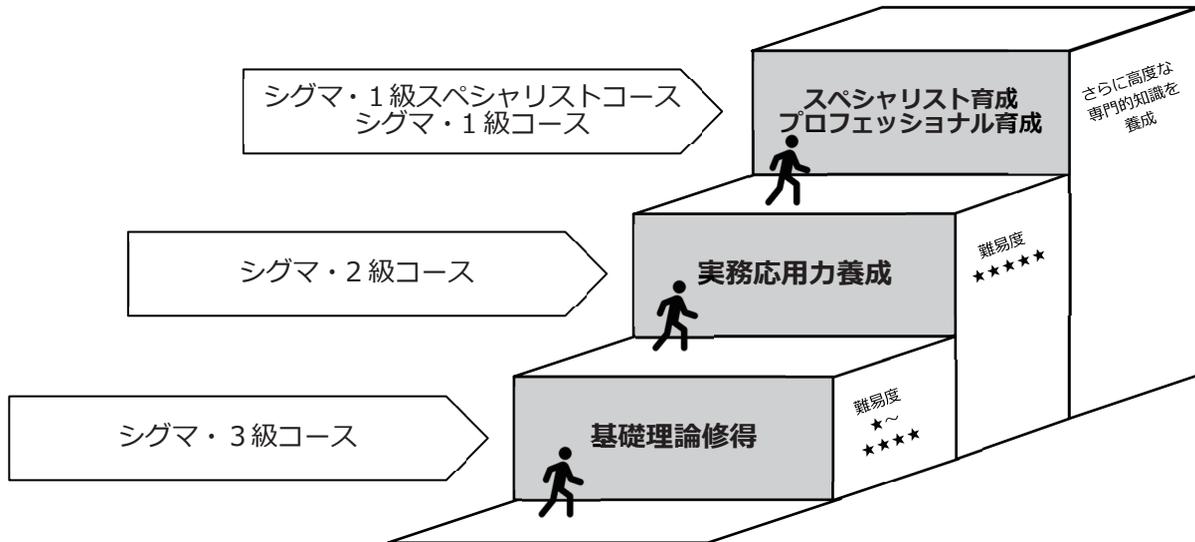
法人のお客様を対象にお申込みをご検討いただくためのサンプルをご提供しています。

請求方法につきましては、弊社 HP「通信教育」にてご確認ください。
https://www.sigbase.co.jp/correspondence/order_c.html

※ 個人のお客様は対象外とさせていただきます。ご了承ください。

シグマインベストメントスクールの教育体系

シグマインベストメントスクールでは、初級～中級者向けの通信教育・eラーニング講座と、上級者向けの専門科・研究科をご提供しています。どのコースにおいても受講者のステップアップに対応するきめ細かい教育を行っています。



(★の数は相対的難易度を示しています)

- ★ 内定者または入社1～2年目の方が受講する内容を想定しています。
- ★★ 若手社員を対象にしていますが(入社1～2年目+d)、★より高いレベルです。
- ★★★ 数式を使用する内容が含まれており、一定の数学の基礎知識が必要です。
- ★★★★ ★★の講座を履修し、十分理解できる方が対象です。数学の知識が必要です。
- ★★★★★ 弊社通学制スクール「専門科」受講の入り口に立つ方が対象です。

<コース一覧>

(専門科・研究科) シグマ・1級スペシャリストコース、 シグマ・1級コース	(通信教育・eラーニング講座) シグマ・2級コース シグマ・3級コース
<ul style="list-style-type: none"> ・「研究科」金利モデルコース ・金融リスク管理コース ・コーポレート・ファイナンスコース ・イールドカーブ分析コース ・クレジットリスク分析コース ・スワップコース ・スワップコース(実務・応用編) ・オプションコース ・オプションコース(実務・応用編) ・プロジェクトファイナンス実践応用コース ・企業価値評価実務コース ・金融工学コース ・デリバティブ実践短期習得コース 	<ul style="list-style-type: none"> ・Excelファイル付き オプション業務Σ2級コース ・Excelファイル付き スワップ業務Σ2級コース ・仕組み債の知識Σ2級コース ・オプション業務Σ3級コース ・スワップ業務Σ3級コース ・コーポレート・ファイナンス基礎コース ・証券化業務Σ3級コース ・クレジット・デリバティブΣ3級コース ・金融数理Σ3級コース ・企業会計と財務分析Σ3級コース ・債券数理と投資戦略基礎コース ・金融証券ビジネスの基礎知識コース ・英語で学ぶ金融基礎知識コース ・金融機関のリスク管理 基礎知識コース ・金融法務コンプライアンス基礎コース <p>※上記のほかに多数のコースを設置しています。 また、新規のコースは随時追加してまいります。</p>

専門科をはじめとして、各種公開講座、企業からの受託研修、通信教育、出版部門による書籍等により、オンライン受講など多様な講義形式とオリジナル教材で聴講できる態勢を整えています。

※専門科・研究科の内容については、別途ご用意している「専門科・研究科パンフレット」をご覧ください。

講座一覧

※10%消費税込み

コード	コース名	難易度	期間 (か月)	受講料※ (円)	備考	頁
金融基礎知識						
ER	経済・景気・相場の読み方コース【金融ベーシック・シリーズ①】	★	3	18,150	e FP	6
KB	金融マーケット入門コース【金融ベーシック・シリーズ②】	★	3	19,250	e FP	6
☆ BD	債券数理／デリバティブ入門コース【金融ベーシック・シリーズ③】	★★	3	20,350	e FP	7
★ BDS	デリバティブ入門コース (Selected Edition)	★★	3	14,300	e FP	7
KS	金融証券ビジネスの基礎知識コース	★	3	22,000	FP	8
★ FA	はじめて学ぶ「経済と金融のしくみ」入門コース	★	2	13,200	e FP	8
MP	金融政策の基礎知識コース	★★	3	19,250	e FP	9
MV	金融マーケット相場観養成コース	★★★	3	19,800	e FP	9
投資・リスク管理						
ZK	実践株式コース	★	1	16,500	e FP	10
BB	2時間で分かる債券の基礎コース	★	1	7,700	e FP	10
SB	債券銘柄の選び方初級コース	★	3	24,200	e FP	11
P3	債券・株式・ポートフォリオ入門コース	★★★★	3	22,000	FP	11
J3	債券数理と投資戦略基礎コース	★★★	3.5	22,000	FP	12
TB	テクニカル分析初級コース	★★	2	9,900	e FP	12
☆ TI	テクニカル分析中級コース	★★★	2	16,500	e FP	13
TC	テクニカル・ファンダメンタル コンビネーション分析コース	★★★	2	19,800	e FP	13
FB	ファンダメンタル分析初級コース	★★	2	13,750	e FP	14
FI	ファンダメンタル分析中級コース	★★★★	2	16,500	e FP	14
BT	行動経済学で学ぶトレード心理と戦略コース	★★	3	22,000	e FP	15
SU	Excelで学ぶ市場の数学コース	★★★	1	11,000	e FP	15
FK	ファイナンス基礎コース	★★★	3	59,400	e FP	16
FK1	Part1：金利・債券数理の基本	★★★	3	19,800	e FP	16
FK2	Part2：確率・統計／リスク管理の基礎	★★★	3	19,800	e FP	16
FK3	Part3：コーポレート・ファイナンス	★★★	3	19,800	e FP	16
☆ FM	金融機関のリスク管理 基礎知識コース	★★	3	19,250	e FP	17
VB	バリュー・アット・リスクの基礎コース	★★★	3	19,250	e FP	17
金融数理						
M3	金融数理Σ3級コース	★★★★	3	22,000		18

★：新規開講講座

☆：リニューアル講座

e：eラーニング講座

FP：日本FP協会 継続教育対象講座

コード	コース名	難易度	期間 (か月)	受講料※ (円)	備考	頁
企業財務・経営						
CB	コーポレート・ファイナンス入門コース	★	2	13,750	e FP	18
CF	コーポレート・ファイナンス基礎コース	★★★★	3.5	22,000	FP	19
CA	英語で学ぶコーポレート・ファイナンス入門コース	★★	2	13,200	e FP	19
FS	英文決算書の読み方基礎コース	★★	3	15,400	e FP	20
EA	英文会計の基礎コース	★★★★	3	17,600	e FP	20
SA	財務諸表と財務分析コース	★★	3	17,600	e FP	21
★ IZ	財務分析アドバンス「いい会社の見つけ方」コース	★★★★	3	24,200	e FP	21
KZ	企業会計と財務分析Σ3級コース	★★★★	3.5	15,400		22
MB	ビジネス・経営のための管理会計入門コース	★★	3	18,150	e FP	22
ST	企業戦略の基礎知識コース	★★	3	26,400	e	23
デリバティブ等金融商品						
NB	日経225オプション・トレーディング初級コース	★★	2	22,000	e FP	23
NI	日経225オプション・トレーディング中級コース	★★★★	2	33,000	e FP	24
F3	フューチャー業務初級コース	★★★★	2.5	16,500	FP	24
O3	オプション業務Σ3級コース	★★★★	3.5	22,000		25
O2	Excelファイル付き オプション業務Σ2級コース	★★★★★	3	30,800		25
S3	スワップ業務Σ3級コース	★★★★	3.5	22,000		26
☆ S2	Excelファイル付き スワップ業務Σ2級コース	★★★★★	3	30,800		26
SG	仕組み債・外債超入門コース	★★★★	3	22,000	FP	27
SI	1か月で学ぶ仕組み債コース	★★★★	1	11,000	e FP	27
SK	仕組み債の知識Σ2級コース	★★★★★	3.5	28,600		28
☆ SZ	証券化業務Σ3級コース	★★★★	3.5	25,300		28
CD	クレジット・デリバティブΣ3級コース	★★★★	3.5	25,300		29
金融英語						
EB	1か月で学ぶ「はじめての金融英語」コース	★	2	11,000	e FP	30
EF	英語で学ぶ金融基礎知識コース	★★★★	3.5	22,000	FP	30
EK	“First Steps for Financial Professional” Series	★★	3	61,600	e FP	31
EK1	Part 1: Economy	★★	3	20,900	e FP	31
EK2	Part 2: Financial Markets	★★	3	20,900	e FP	31
EK3	Part 3: Trading	★★	3	20,900	e FP	31

コード	コース名	難易度	期間 (か月)	受講料※ (円)	備考	頁
不動産						
FH	不動産評価入門コース	★★★	2.5	16,500	FP	32
コンプライアンス・提案スキル						
CP	金融法務コンプライアンス基礎コース	★	3	16,500	e FP	32
☆ AG	顧客本位の「ゴールベース資産管理」コース	★★	3	15,400	e FP	33
資格試験対策						
ACEM	アクチュアリー1次試験対策 入門コース「数学」	★★★	3	32,780	e	33
GA1	一種外務員最短合格コース	-	3	11,550	e FP	34
GA2	二種外務員最短合格コース	-	3	11,550	e FP	34
TK1S	統計検定® 準1級 基本レクチャー	★★★	3	41,250	e	35
TK1P	統計検定® 1級 基本レクチャー	★★★★	3	48,950	e	35
PBP	プライマリー PB 資格取得コース	★★★	6	44,000	e FP	36
☆ PBS	シニアPB 資格取得コース	★★★★★	3	99,000		36

ER 経済・景気・相場の読み方コース

eラーニング講座

課目：金融 単位：AFP 7.5 / CFP 8.5

受講期間 3か月

動画 約3時間40分

テキスト 1冊

テスト 1回

受講料 18,150円(税込)

ねらいと特色

- ✓ 本コースではまず、普段何気なく使っている「経済・景気が良くなっている、悪くなっている」という表現がどのような根拠によるかを解説します。
- ✓ 次に、そのような判断に基づき、政府や中央銀行である日銀がどのような行動をとるのかを学習します。
- ✓ 最後に、経済の血流・血圧ともいえる金利・株価・為替相場がどのように反応するのか理解するための知識を学習します。

対象者

- ✓ ビジネスパーソン全員
- ✓ 特に、新人やマーケット業務に携わる方

カリキュラム

■ 第1章 経済・景気の読み方

1. 経済を見る視点
2. GDPと計算方法
3. GDPと三面等価の原則
4. GDP統計とGDPデフレーター
5. GDPの内訳分析
6. 政府の月例経済報告
7. 日銀短観による景気判断
8. 景気動向指数による景気判断
9. 生産・分配・雇用面からの分析
10. 金利と物価

■ 第2章 政府と日銀の経済政策

1. 景気対策（財政政策と金融政策）
2. 日銀当座預金と決済機能
3. 準備預金制度
4. マネーストック
5. 銀行と信用創造
6. 日銀の金融政策
7. 海外取引と経済・景気の関係

■ 第3章 経済・景気と相場の関係

1. 為替レートと貿易・金融取引の関係
2. 景気、金利、株価、為替の動きの関係
3. 株価は景気を映す鏡

■ コラム 経済・景気の話あれこれ

1. 大きな数字
2. 景気の波
3. 貯蓄と「合成の誤謬」

KB 金融マーケット入門コース

eラーニング講座

課目：金融 単位：AFP 7.5 / CFP 8.0

受講期間 3か月

動画 約4時間07分

テキスト 1冊

テスト 1回

受講料 19,250円(税込)

ねらいと特色

- ✓ 各種金融マーケットについての基礎知識をたくさんの図解入りで学習できます。
- ✓ 短期金融マーケット（コール・手形市場、オープン市場）、公社債市場、株式市場、外国為替市場の仕組みと具体的な取引内容・機能について学びます。

対象者

- ✓ マーケット業務に携わるビジネスパーソン
- ✓ 金融機関に入社する予定、入社したばかりの新人の方
- ✓ 「経済・景気・相場の読み方コース」を受講した方

カリキュラム

■ 第1章 金融マーケット概観

1. 金融とは
2. 金融取引の種類
3. 金融市場の分類

■ 第2章 短期金融市場

1. 短期金融市場とは
2. 日銀と短期金融市場の関係
3. 日銀の金融政策と経済の関係
4. インターバンク市場
5. オープン市場

■ 第3章 長期金融市場 (1) 債券市場

1. 債券とは何か
2. 債券の種類
3. 国債について
4. 債券の発行市場
5. 債券の売買

■ 第4章 長期金融市場 (2) 株式市場

1. 株式とは
2. 株式の種類
3. 株式の発行
4. 株式の流通市場
5. 株価指数
6. 投資指標

■ 第5章 外国為替市場

1. 市場の仕組みと建値方法
2. スポット取引
3. 手数料

金融ベーシック・シリーズ ③

難易度 ★★☆☆☆

BD 債券数理／デリバティブ入門コース

eラーニング講座

FP 課目：金融 単位：AFP 7.5 / CFP 10.0

受講期間 3か月
 動画 約5時間13分
 テキスト 1冊
 テスト 1回
 受講料 20,350円(税込)

ねらいと特色

- ✓ 金融マーケットの最も基礎的かつ重要な金利の考え方や計算方法、すべてのファイナンス理論の基本である債券数理についてポイントを丁寧に解説します。
- ✓ 一般の金融商品とはやや異なる性質を持つデリバティブについて、先物・先渡、スワップ、オプションそれぞれの勘所を基本から解説します。
- ✓ 理論的だけではなく実務面もきちんと身に付くよう構成しています。
- ✓ 具体例も豊富にありますので、前提知識を持たない人でも理解しやすい内容です。

対象者

- ✓ 新たにマーケット部門へ配属された金融機関の方
- ✓ 金融商品・派生商品作成に関わる業務に携わる方
- ✓ 金融証券ビジネスに初めて関わる方
- ✓ 金融関連システム開発関係者
- ✓ 「経済・景気・相場の読み方コース」「金融マーケット入門コース」を受講され、次のステップに進みたい方

カリキュラム

- | | | |
|---|--|--|
| <p>■ 第1章 金利と収益率計算の基本</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 金利表示 2. 単利と複利 3. 収益率 | <p>■ 第3章 金融商品の理論価格</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 理論価格 2. 現在価値とディスカウント・ファクター 3. ディスカウント・ファクターとスポット・レート | <p>■ 第6章 スワップ取引</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. スワップ取引とは 2. 金利スワップ 3. 通貨スワップ |
| <p>■ 第2章 債券利回り</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 債券利回りの計算 2. スポット・レート 3. フォワード・レート | <p>■ 第4章 デリバティブとは</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. デリバティブ取引の概要 <p>■ 第5章 先物・先渡取引</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 先物・先渡取引とは 2. フューチャー取引 3. 先物の利用事例 4. 先物・先渡の理論価格 | <p>■ 第7章 オプション取引</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オプション取引とは 2. オプション取引の損益 3. オプション価格に影響を与える要因 4. 日経平均オプション 5. オプション・ストラテジー |

3時間で学ぶ！ 初歩からのデリバティブ

難易度 ★★☆☆☆

BDS デリバティブ入門コース (Selected Edition)

eラーニング講座

FP 課目：金融 単位：AFP 5.5 / CFP 5.5

受講期間 3か月
 動画 約3時間
 テキスト 1冊
 テスト 1回
 受講料 14,300円(税込)

ねらいと特色

- ✓ 金融パーソンの必須知識「デリバティブ」を、3時間の映像で学習するプログラムです。
- ✓ 代表的なデリバティブ取引の基本的な仕組みや使い方が理解できます。
- ✓ 豊富な図表や具体例を使って、前提知識を持たない人でも分かりやすく説明します。

対象者

- ✓ 新たにマーケット部門へ配属された金融機関の方
- ✓ 金融証券ビジネスに初めて関わる方
- ✓ じっくりと「デリバティブとは何か」を学びたい方
- ✓ 「経済・景気・相場の読み方コース」「金融マーケット入門コース」を受講された方

カリキュラム

- | | | |
|---|---|--|
| <p>■ 第1章 デリバティブとは</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. デリバティブ取引の概要 | <p>■ 第3章 スワップ取引</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. スワップ取引とは 2. 金利スワップ 3. 通貨スワップ | <p>■ 第4章 オプション取引</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オプション取引とは 2. オプション取引の損益 3. オプション価格に影響を与える要因 4. 日経平均オプション 5. オプション・ストラテジー |
| <p>■ 第2章 先物・先渡取引</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 先物・先渡取引とは 2. フューチャー取引 3. 先物の利用事例 4. 先物・先渡の理論価格 | | |

※ 本コースは、通信教育講座「デリバティブ（金融派生商品）入門コース」の後継コースとして制作しています。
 ※ カリキュラムは、eラーニング講座「債券数理／デリバティブ入門コース」から、デリバティブの部分を抽出したものです。

KS 金融証券ビジネスの基礎知識コース

通信教育講座

FP 課目：金融 単位：AFP 7.5 / CFP 15.0

受講期間 3か月

テキスト 3冊

テスト 3回

受講料 22,000円(税込)

ねらいと特色

- ☑ 金融パーソンとして知っておくべき基本知識を凝縮した内容です。
- ☑ 丁寧に説明するスタイルで、どなたも無理なく学ぶことができます。
- ☑ 『日銀の金融政策』や『財務諸表』の見方、『債券数理』、『デリバティブ』など、初学者には障壁の高い項目は特に丁寧に説明しています。

対象者

- ☑ 金融機関に入社する予定、入社したばかりの新人の方
- ☑ 事業会社の財務部門の方などで金融の基本を学びたい方
- ☑ 分かりやすいテキストで金融や経済を基礎から学びたい方

カリキュラム

■ 第1分冊 経済と株式の基礎知識

I 経済の基礎知識

1. 経済のしくみ
2. 景気のしくみ
3. 物価のしくみ
4. 金融のしくみ
5. グローバル経済

II 株式の基礎知識

1. 株式の基礎
2. 企業財務諸表入門
3. 株式分析指標入門
4. 株価チャート入門

■ 第2分冊 債券と債券数理・外国為替・投資信託の基礎知識

I 債券と債券数理

1. 債券の基礎知識
2. 債券数理の基礎
3. 債券投資のリスク

II 外国為替

1. 「外国為替」とは何か？
2. 外国為替市場
3. 外国為替のレート表示

III 投資信託

1. 投資信託の基礎知識
2. 投資信託の種類
3. 投資信託実務用語の解説

■ 第3分冊 デリバティブの基礎知識

I スワップの基礎知識

1. スワップ取引 2. 金利スワップ
3. 金利スワップの利用方法
4. 通貨スワップ
5. スワップ・プライシング理論入門

II フューチャーの基礎知識

1. フューチャー取引
2. フューチャー取引の仕組みと制度
3. 代表的なフューチャー取引
4. フューチャーの価格

III オプションの基礎知識

1. オプション取引
2. オプション取引の仕組みと損益
3. 代表的なオプション取引
4. オプションの価格

「経済と金融」の世界へようこそ！

FA はじめて学ぶ「経済と金融のしくみ」入門コース

eラーニング講座

FP 課目：金融 単位：AFP 7.0 / CFP 7.0

受講期間 2か月

動画 約3時間

テキスト 1冊

テスト 1回

受講料 13,200円(税込)

ねらいと特色

- ☑ 経済や金融のしくみを平易に解説しています。
- ☑ 欲張らずに必要な最低限な内容に絞り込んでいます。
- ☑ 新入社員研修等で本格的に学ぶ前の下準備に最適です。

対象者

- ☑ これまで経済や金融の勉強をしたことがない方
- ☑ 簡単に経済や金融のしくみを概観したい方

カリキュラム

■ 第1部 経済のしくみ

01. 経済とは
 - ・経済を分析する視点
 - ・GDPとは
02. 景気のしくみ
 - ・景気とは ・景気は循環する
 - ・景気の山と谷 ・景気の動きを読む
 - ・景気を良くするにはどうしたらよいか
03. 物価のしくみ
 - ・物価を表す指標
 - ・インフレ・デフレとは何か
04. グローバル経済
 - ・国内経済と海外の関係
 - ・国際収支状況
 - ・為替レートと国際収支の関係

05. 企業の財務諸表
 - ・企業財務諸表の基礎 ・貸借対照表
 - ・損益計算書

■ 第2部 金融のしくみ

06. 金融とはなにか？
 - ・お金とは何か ・「お金」の定義
 - ・お金はいかにして生まれるのか
07. 銀行と中央銀行の役割
 - ・銀行の役割 ・中央銀行の役割

■ 第3部 金融市場の概要

08. 株式の基礎
 - ・株式とは何か？ ・株式の発行
 - ・株式の流通 ・株価指数について
 - ・各種株式分析指標

09. 債券の基礎
 - ・債券とは何か？
 - ・債券の種類
 - ・債券の中心的存在～国債
 - ・債券の投資リスク
10. 外国為替の基礎
 - ・外国為替とは何か？
 - ・インターバンク市場と対顔市場
 - ・取引の種類
 - ・スポット・レートの表示方法
11. 投資信託の基礎
 - ・投資信託のしくみ
 - ・投資信託の特徴
 - ・投資信託の種類

その基本から、非伝統的政策のメカニズムまで

難易度 ★★☆☆☆

MP 金融政策の基礎知識コース

eラーニング講座

④ 課目：金融 単位：AFP 7.5 / CFP 15.0

受講期間	3か月
動画	約8時間40分
テキスト	1冊
テスト	1回
受講料	19,250円(税込)

ねらいと特色

- ✓ 金融政策はどんな目的で作られ、どのように移り変わってきたのでしょうか？
日銀をはじめ主要国中央銀行の金融政策について、その目標、決め方、変遷など、金融政策研究の第一人者が解説します。
- ✓ インフレ目標、量的緩和、マイナス金利など非伝統的金融政策についても詳しく説明します。映像と書き下ろしテキスト、そして修了テストを使って体系立てて学ぶことが出来ます。

対象者

- ✓ 日銀など中央銀行の役割について学習したい方
- ✓ 金融政策の目的や歴史を知りたい方
- ✓ マイナス金利や量的緩和など、最近の話題について詳しく知りたい方
- ✓ FPの方
- ✓ ビジネスパーソン全員、新入社員や就職活動中の方

カリキュラム

■ 第1部 金融政策とは

1. 「経済安定化の政策」の中の金融政策
2. 金融政策と中央銀行

■ 第2部 通常の金融政策のメカニズム

3. 通常の金融政策の波及経路
4. 公開市場操作と日銀の資金供給
5. 中長期金利の低下と市中銀行の信用創造
6. 準備預金の変動と日銀の日々の金融調節

■ 第3部 金融政策のより広い枠組み

7. 金融政策の諸手段
8. 金融政策の目標とその変遷
9. インフレ目標政策

■ 第4部 非伝統的金融政策のメカニズム

10. 非伝統的金融政策とそのメニュー
11. 大量資金供給と大量資産購入
12. フォワードガイダンス
13. 相対型貸出誘導、マイナス金利政策、その他

■ 第5部 金融政策の現在 (1)

- コロナ危機前まで
14. 主要国中銀の非伝統的金融政策
 15. 日銀の量的・質的金融緩和シリーズ
 16. 非伝統的金融政策を巡る議論

■ 第6部 金融政策の現在 (2)

- コロナ危機後の展開
17. 主要国中銀のコロナ危機対応策
 18. コロナ緩和の巻き戻しと金融政策新常态
 19. 中央銀行と金融政策をめぐる諸問題

グローバルマーケット時代の

難易度 ★★★★★

MV 金融マーケット相場観養成コース

eラーニング講座

④ 課目：金融 単位：AFP 7.5 / CFP 15.0

受講期間	3か月
動画	約1時間10分
テキスト	1冊
テスト	1回
受講料	19,800円(税込)

ねらいと特色

- ✓ 金融グローバル化が進行するなか、金利・債券、株式、為替相場がどのような要因や仕組みで動くのか、またどのように予測すればよいのか、体系立てて学習するコースです。
- ✓ マーケット経験豊富な講師が、体験談や相場関連の歴史も織り交ぜながら、興味深く学習できるよう配慮しています。

対象者

- ✓ アナリストの視点を学習したい方
- ✓ マーケットに影響を与える様々な要因を俯瞰して見たい方
- ✓ FPとしてさらに活躍したい方
- ✓ もちろん実際にマーケットの現場にいる方も

カリキュラム

■ 第1部 経済・景気の視点からの相場の読み方

- ・マクロ経済 ・景気指標 ・物価・インフレ率
- ・産業構造・新興企業 ・経常収支 ・国際収支

■ 第2部 金融政策の視点からの相場の読み方

- ・政策スタンス ・マネタリーベース、マネーストック
- ・中央銀行の行動 ・日本銀行と金融政策の変遷
- ・各国中央銀行 ・イールドカーブ

■ 第3部 財政政策の視点からの相場の読み方

- ・国債管理政策 ・国債の発行・流通市場
- ・国債指標銘柄と周辺銘柄 ・社債格付けと社債市場

■ 第4部 企業活動の視点からの相場の読み方

- ・日経平均株価とTOPIX ・技術革新
- ・企業業績・信用 ・ROE重視経営
- ・配当、自社株消却 ・JPX日経400 ・M&A

■ 第5部 投資戦略の視点からの相場の読み方

- ・投資スタイル ・先物取引、空売り ・ボラティリティ
- ・アセットアロケーション ・エネルギー関連市場

■ 第6部 政治力学の視点からの相場の読み方

- ・政権・政策運営 ・要人発言 ・人口ピラミッド
- ・プラザ合意 ・金融国際化・金利自由化 ・デリバティブ

■ 第7部 プロ投資家行動の視点からの相場の読み方

- ・銀行 ・証券会社 ・機関投資家 ・外国人投資家

■ 第8部 投資家心理の視点からの相場の読み方

- ・投機・バブル ・行動経済学

■ 第9部 グローバルマーケットの視点からの相場の読み方

- ・24時間マーケット ・LIBOR（廃止による影響も）

口座開設から分析方法までやさしく説明します！

難易度 ★☆☆☆☆

ZK 実践株式コース

eラーニング講座

FP 課目：金融 単位：AFP 7.5 / CFP 15.0

受講期間 1か月

テキスト※ 1冊

テスト 1回

受講料 16,500円(税込)

※テキストはPDFダウンロード形式です
紙媒体は付属しません

ねらいと特色

- ☑ 株の基礎知識から自分で投資運用できるまでを学びます。
- ☑ オリジナルテキストと修了テストにより、マイペースで確実にスキルを習得できます。

対象者

- ☑ これから株式投資を始めようとお考えの方
- ☑ 金融機関に入社する予定、入社したばかりの新人の方

カリキュラム

- 第1章 株式投資の魅力
- 第2章 賢者は歴史に学ぶ
- 第3章 株式投資に必要な金額は？
- 第4章 株の怖さを知っておこう
- 第5章 基本的な用語をマスターしておこう
- 第6章 儲かる株の探し方1
(どういう手法があるか)
 1. 自分で調査し納得したものを買う
(ボトムアップ・アプローチ)
 2. どういう時に株は上がるの？
(トップダウン・アプローチ)
 3. 確率5割以上を目指すこと
(テクニカル分析)
- 第7章 儲かる株の探し方2
(ボトムアップ・アプローチ その1)
- 第8章 儲かる株の探し方3
(ボトムアップ・アプローチ その2)
- 第9章 儲かる株の探し方4
(トップダウン・アプローチ)
- 第10章 儲かる株の探し方5
(テクニカル分析 その1)
- 第11章 儲かる株の探し方6
(テクニカル分析 その2)
- 第12章 売る時はどうしたらいいの？
 1. 難しい売りどきの決め方
 2. 損切りの仕方
 3. やっと買値に戻った場合
 4. 思った以上に株価が上昇した場合
 5. 動かない株の場合
 6. 業績の良い会社の場合
 7. 評価損も損のうち
- 第13章 ちょっと高度な売買手法
- 第14章 株価が上がる以外の得する話
- 補講 口座の開き方

誰もが身につけたい債券の知識を凝縮

難易度 ★☆☆☆☆

BB 2時間で分かる債券の基礎コース

eラーニング講座

FP 課目：金融 単位：AFP 4.5 / CFP 4.5

受講期間 1か月

動画 約2時間

テキスト 1冊

テスト 1回

受講料 7,700円(税込)

ねらいと特色

- ☑ 債券について、基本的事項から利回り、取引実務まで、誰でも身につけておきたい内容を凝縮しています。
- ☑ 債券について分かりやすく学ぶことができます。講義時間はわずか2時間で、非常にコンパクトな講座です。
- ☑ コンパクトな講座ですが、利回りの計算方法とその意味や、債券の価格が何故変動するかといった、初心者がつまづきがちポイントを丁寧に解説しています。

対象者

- ☑ 金融機関に入社したばかりの新人の方
- ☑ これからFPや証券アナリストの学習を始める方
- ☑ 債券について分かりやすい教材をお探しの方

カリキュラム

- 第1章 債券の基礎
 1. 債券とは何か
 2. 実際の債券の例
 3. 債券の特徴
 4. 債券の種類
- 第2章 債券の価格変動のしくみ
 1. 債券の価格はなぜ変動するか
 2. 「信用リスク」の問題
 3. 格付けについて (補足)
- 第3章 債券の利回り
 1. 債券の利回りとは
 2. 単利回りの計算式
 3. 単利回りの意味
 4. 利回りから価格を計算する
 5. 利回りと価格の関係
 6. 複利利回り (参考)
- 第4章 債券の実務知識
 1. 債券の発行方式
 2. 債券の売買
 3. 経過利息
- 第5章 主な債券の種類と特徴
 1. 国債
 2. 地方債
 3. 政府関係機関債
 4. 事業債
 5. 外債

債券営業・債券運用の必須知識！

難易度 ★☆☆☆☆

SB 債券銘柄の選び方初級コース

eラーニング講座

FP 課目：金融 単位：AFP 7.5 / CFP 11.0

受講期間 3か月
 動画 約4時間30分
 テキスト 1冊
 テスト 1回
 受講料 24,200円(税込)

ねらいと特色

- ✓ 途中売却が難しい債券投資の最重要ポイントとなる銘柄選びについて学習します。
- ✓ 様々な種類（国債、地方債、社債、サムライ債、ユーロ債、外貨建て債など）や付与される条件（社債間限定同順位特約付、期限前償還条項付、劣後特約付きなど）について解説しています。
- ✓ 特別な「仕組み」を持つ仕組債についても解説しています。
- ✓ たくさん選択肢から投資家の選好を満たす選定の基礎知識と方法が修得できます。

対象者

- ✓ 証券会社の債券営業、銀行の国債窓販業務に携わる方
- ✓ 投資機関として債券運用に携わる方

カリキュラム

■ 第1章 基礎知識編

1. 債券市場と債券投資
2. 個人向け国債・地方債投資
3. 社債の分類
4. 個人向け社債の銘柄
5. 個人向け社債の動向
6. 債券の利回りと既発債市場の仕組み
7. 債券の信用リスク
8. 社債の格付け
9. 国債スプレッドと格付け遷移リスク
10. 格付け別利回り曲線
11. 債券の信用リスク・市場リスク・流動性リスク

■ 第2章 基礎知識編

1. 国債・地方債投資
2. 普通社債投資（オリックス第178回）
3. 普通社債投資（楽天第2回）
4. 普通社債投資（小田急電鉄第65回）
5. 普通社債投資（近畿日本鉄道第84回）
6. 普通社債投資（クレディセゾン第52回）
7. 普通社債投資（東芝第60回）
8. 普通社債投資（四国電力第283回）
9. 普通社債投資（ソフトバンク第45回）
10. 普通社債投資（ソフトバンク第46回）
11. ソフトバンク普通社債の分析

12. 期限前償還条項付社債（劣後特約付）投資とベイルイン特約
13. サムライ債投資
14. 外貨建て社債投資
15. ノックインタイプの仕組債投資

証券アナリスト「証券分析」分野はこれでバッチリ！

難易度 ★★★★★

P3 債券・株式・ポートフォリオ入門コース

通信教育講座

FP 課目：金融 単位：AFP 7.5 / CFP 15.0

受講期間 3か月
 テキスト 3冊
 添削課題 3回
 受講料 22,000円(税込)

ねらいと特色

- ✓ 証券アナリスト（CMA）第1次試験の「証券分析とポートフォリオ・マネジメント」分野にほぼ沿った内容となっています。
- ✓ β 値の意味やデュレーションなど、実務的にも重要な知識を重点的に説明しています。

対象者

- ✓ しっかりと基礎からポートフォリオ理論を学びたいという方
- ✓ 証券アナリスト（CMA）試験の「証券分析とポートフォリオ・マネジメント」分野が苦手な方
- ✓ 投資顧問、運用業務に携わる方

カリキュラム

■ 第1分冊 債券

1. 債券投資の基本となる金利計算
2. 債券の価格とその計算
3. 債券の利回りとその計算
4. イールド・カーブの知識
5. 債券投資のリスク
6. 債券のデュレーションとその利用方法

■ 第2分冊 ポートフォリオ (1)

1. 証券分析の基礎
2. ポートフォリオの「収益率の期待値」とリスク「収益率の分散・標準偏差」
3. 投資機会集合と最適ポートフォリオ
4. 「収益率の期待値」と「収益率の分散・標準偏差」の推定

■ 第3分冊 ポートフォリオ (2)&株式

- <ポートフォリオ(2)>
1. 市場モデル（Market Model）
 2. 資本資産評価モデル（Capital Asset Pricing Model）
 3. ポートフォリオのパフォーマンス評価
- <株式>
1. 株式の投資尺度
 2. 株式評価モデル
 3. 株式の投資収益率

「債券投資とは何か」がわかります！

難易度 ★★☆☆☆

J3 債券数理と投資戦略 基礎コース

通信教育講座

課目：金融 単位：AFP 7.5 / CFP 15.0

受講期間 3.5か月

テキスト 3冊

添削課題 4回

受講料 22,000円(税込)

ねらいと特色

- ✓ 債券利回りの計算、スポットレートの基本から着実に理解できます。
- ✓ 金利感応度、デュレーション、イールドカーブの意味や使い方が分かります。
- ✓ イールドカーブ変化への対応を18パターンに分類して解説するほか、債券投資のALM（資産負債管理）も取り上げます。

対象者

- ✓ しっかりと基礎から債券投資を学びたい方
- ✓ デリバティブや投資理論の勉強の第一歩としてきちんと金利を勉強したい方
- ✓ FPや証券アナリストを目指す方で、債券の知識を得点源にしたい方

カリキュラム

■ 第1分冊 債券の金利と価格の計算

I 学習の準備：国債について

1. 国債の種類と市場
2. 国債の発行市場と流通市場

II 債券投資の基本となる金利計算

1. 収益率
2. 単利計算と複利計算
3. 時間選好・時間価値
4. キャッシュ・フローの時間価値
5. スポット・レート

III 債券の価格とその計算

1. 債券価格計算の基礎
2. 利払い期の途中における債券価格の算出
3. スポット・レート変化と債券価格変化の関係

■ 第2分冊 債券の利回りとイールドカーブ

I 債券の利回りとその計算

1. 債券利回りの種類
2. 最終利回りの計算

II イールドカーブの知識

1. イールドカーブの種類
2. 利回りの期間構造理論
3. スポット・レート曲線から最終利回り曲線、パー・レートへの展開

■ 第3分冊 投資戦略策定の基礎

I 債券価格の金利感応度

1. 価格と最終利回りの関係
2. 価格変化額と価格変化率
3. 金利感応度に及ぼすクーポン効果と残存期間効果

II 債券のデュレーションとその利用方法

1. マコーレイ・デュレーション
2. 修正デュレーション
3. 債券価格の金利感応度指標としての修正デュレーション
4. 債券ポートフォリオのデュレーション

III イールド・カーブ変化と時間経過への対応

1. 修正デュレーションの効用と限界
2. スポット・レート曲線変化と時間経過の総合判断

IV 債券投資のALM

1. 債券投資のALMとは
2. 債券投資のALMの様々な手法
買切り型投資への対応／イミュニゼーション戦略／短期保有型投資への対応

豊富な具体例で基礎から学ぶ！

難易度 ★★☆☆☆

TB テクニカル分析初級コース

eラーニング講座

課目：金融 単位：AFP 7.5 / CFP 9.5

受講期間 2か月

動画 約3時間57分

テキスト 1冊

テスト 1回

受講料 9,900円(税込)

ねらいと特色

- ✓ テクニカル分析の入門編として、体系的、網羅的に理解できます。
- ✓ 具体例やチャートなどを豊富に盛り込み、実践的に学ぶことができます。
- ✓ 奥深いテクニカル分析の世界は、相場の知恵の結晶ともいえます。その歴史的背景を含めてやさしく解説します。

対象者

- ✓ テクニカル分析を基礎から学びたい方
- ✓ テクニカル分析を体系的に学びたい方

カリキュラム

■ 第1部 トレンド分析からローソク足

分析まで

1. テクニカル分析のアプローチ法と分類
2. 4本値と最高値・最安値
3. メジャー・トレンドとマイナー・トレンド
4. トレンドの形成
5. パターン
6. パターンの利用法
7. バーチャートとローソク足
8. ローソク足の見方①～基本
9. ローソク足の見方②～1本のローソク足

10. ローソク足の見方③

～2本以上のローソク足

11. ギャップ

■ 第2部 移動平均からさまざまな

応用分析まで

12. 移動平均線
13. 擬似モメンタム系テクニカル分析
14. モメンタム分析系テクニカル分析
15. ROC
16. オシレーター

17. RSI

18. チャイキンズ・ボラティリティ

19. 出来高

20. 逆ウォッチ曲線

21. OBV

22. 複数の技法の組み合わせ

23. グランビルの日々指数 (短期テクニカル法則)

メジャーなテクニックを一気に攻略！

難易度 ★★★★★

受講期間 2か月
 動画 約4時間
 テキスト 1冊
 テスト 1回
 受講料 16,500円(税込)

TI テクニカル分析中級コース

eラーニング講座

課目：金融 単位：AFP 7.5 / CFP 11.0

ねらいと特色

- ✓ チャートの神髄をお教えます。
- ✓ 株式投資を始めたがチャートの意味を知らない初心者から、改めてチャートの活用を考えたいベテランまで、満足いただける内容です。
- ✓ オリジナルテキストと修了テストにより、マイペースで確実にスキルを習得できます。

対象者

- ✓ 初心者から投資経験が豊富なベテランまで

カリキュラム

- | | | |
|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ■ 第1章 テクニカル分析 序説 <ul style="list-style-type: none"> ・テクニカル分析の意義・原則・特質・限界 ・ファンダメンタルズ分析との併用 ■ 第2章 チャートリーディングの基本 <ul style="list-style-type: none"> ・ロウソク足チャートの読み方・売買サイン ・ラインチャート・バーチャートの読み方 ■ 第3章 トレンド相場の分析 <ul style="list-style-type: none"> ・コレクション ・トレンド転換 ・チャンネルライン ・トレンドラインのサポート ・トレンドラインのブレイクアウト ■ 第4章 レンジ相場の分析 <ul style="list-style-type: none"> ・保ち合い放れに乗り ・レベルラインのサポート・ブレイクアウト ■ 第5章 パターン分析 <ul style="list-style-type: none"> ・天井／底入れパターンの解釈 ・ネックライン ・トライアングルの解釈 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 第6章 移動平均分析 <ul style="list-style-type: none"> ・移動平均の意義・追従性・拡散と収束 ・グランビルの法則 ・EMAとWMA ■ 第7章 バンド分析 <ul style="list-style-type: none"> ・バンド分析の意義と問題点 ・ボリンジャーバンド ・エンベロープ ・ドンチャンチャンネル ■ 第8章 オシレーター分析 <ul style="list-style-type: none"> ・オシレーターのダイバージェンス ・ROC ・サイコロジカルライン ・RSI ・MACD ・ストキャスティクス ・移動平均乖離率 ■ 第9章 出来高と建玉の分析 <ul style="list-style-type: none"> ・出来高とトレンドの関係 ・出来高の急増と株価の関係 ・閑散相場 ・バブル相場 ・賃貸倍率 ・建玉分析の意義 ・信用評価損益率 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 第10章 波動分析 <ul style="list-style-type: none"> ・ダウ理論 ・エリオット波動 ・リトレースメント理論とフィボナッチ ・ギャン理論とファン理論 ■ 第11章 サイクル分析 <ul style="list-style-type: none"> ・ハーストの8原則 ・サイクルウィンドウ理論 ・サイクルトランスレーション理論 ■ 第12章 一目均衡表による分析 <ul style="list-style-type: none"> ・転換線と基準線 ・先行スパンとクモ ・遅行スパン ・三役好転 ■ 第13章 実戦的課題の考察 <ul style="list-style-type: none"> ・チャートの時間軸の選別 ・対数チャート ・順張り／逆張りの実戦的課題 ・トレード／長期投資とテクニカル分析 |
|--|--|--|

※ 2025年春に全面改訂を予定しています。

2つのテクニックを組み合わせ、相乗的に活かす！

難易度 ★★★★★

受講期間 2か月
 動画 約5時間40分
 テキスト 1冊
 テスト 1回
 受講料 19,800円(税込)

TC テクニカル・ファンダメンタルコンビネーション分析コース

eラーニング講座

課目：金融 単位：AFP 7.5 / CFP 14.0

ねらいと特色

- ✓ 証券分析で代表的なテクニカルとファンダメンタルを組み合わせた判断方法が習得できます。
- ✓ 代表的な2つのテクニックを知っている方はたくさんいるはずです。本講座では、これらを組み合わせることで見えてくる、投資におけるポイントなどを、具体的に実践的に解説します。

対象者

- ✓ 証券会社営業担当者
- ✓ 計画的に運用を考えている個人投資家の方
- ✓ 習得した知識を実際に投資で活用したいと考えている方
- ✓ NISAの活用や中長期投資を考えている方
- ✓ ファイナンシャルプランナー（FP）、プライベートバンカー（PB）の方

カリキュラム

- | | | |
|---|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ■ 第1部
投資と投機の違い ■ 第2部
時間に制限のない投資で見るべきポイント ■ 第3部
日経平均株価が振れ幅の大きな上昇、下降を繰り返す理由 ■ 第4部
日経平均の1年間の動き方 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 第5部
日経平均株価と採用銘柄の値動きの関係 ■ 第6部
長期、中期、短期の期間の考え方 ■ 第7部
短期の市場参加者が作り出す似たパターン | <ul style="list-style-type: none"> ■ 第8部
3通りの調整パターンとトレンドの基本型 ■ 第9部
テクニカル指標を売買サイン以外に有効に使う方法 ■ 第10部
市場全体の季節性による上げ下げと個別銘柄の動き方 |
|---|--|---|

FB ファンダメンタル分析初級コース

eラーニング講座

課目：金融 単位：AFP 7.5 / CFP 10.0

受講期間 2か月
 動画 約5時間40分
 テキスト 1冊
 テスト 1回
 受講料 13,750円(税込)

ねらいと特色

- ✓ 株価は企業価値の反映と言われます。企業価値とは何か、またどのような考え方で計算されるのかを学びます。
- ✓ 財務諸表から求められるROA、ROEなどの主要財務指標の意味と読み方を学びます。
- ✓ 特徴的な動きをしている15銘柄の株価分析と予測の仕方をケーススタディ形式で行います。

対象者

- ✓ 証券アナリストを目指す方
- ✓ 決算短信・財務諸表を投資に活用したい方
- ✓ ファンド運用担当者、株式トレーダー、法人担当者、IPO・M&A担当者

カリキュラム

■ 第1章 基礎知識編

1. 景気と株価の関係
2. 損益計算書
3. 貸借対照表
4. キャッシュフロー計算書
5. 企業活動とフリーキャッシュフロー (FCF)
6. 自己資本コスト、負債の資本コスト、WACC
7. 自己資本コストの求め方
8. 企業価値の求め方
9. ROE、PER、PBRと相互関係
10. ROEとPBRの日米比較

11. ROEとペイアウト（配当・自社株買い）政策

12. ROEと成長戦略・事業戦略の関係
13. OOA、ROA、ROEと最適資本構成
14. 企業価値とROEの関係
15. ROE重視の落とし穴、OOA・ROA
16. ウォーレン・バフェットから学ぶ投資スタイル
17. JPX日経インデックス400

■ 第2章 ケーススタディ編

18. 企業情報と入手方法
19. 川崎汽船 (9107)
20. アマダHD (6113)
21. サンゲツ (8130)
22. 富士フィルムHD (4901)
23. ファナック (6954)
24. 東京海上HD (8766)
25. 伊藤忠商事 (8001)
26. 三井化学 (4183)
27. キッコーマン (2801)

など

FI ファンダメンタル分析中級コース

eラーニング講座

課目：金融 単位：AFP 7.5 / CFP 11.5

受講期間 2か月
 動画 約5時間46分
 テキスト 1冊
 テスト 1回
 受講料 16,500円(税込)

ねらいと特色

- ✓ 多くの人が知っているPERなどの指標を、実際の投資で活用するための方法を伝授します。
- ✓ 日々変化するマーケット状況において、個々の指標について企業財務における注意点や、毎日のニュースの活用法などについて解説します。

対象者

- ✓ 証券会社営業担当者
- ✓ 法人営業担当者
- ✓ ファンダメンタル分析を実務に活用したい方
- ✓ ファンド運用担当者、株式トレーダー
- ✓ NISA活用や中長期投資を考えている方
- ✓ FP・PBの方

カリキュラム

■ 第1部 株式投資の鉄則を知る

1. 景気と株価の関係をしっかりとらえる
2. 経済危機が多発する世の中になった
3. 「危機は喜々として」迎える
4. 株式投資における2大原則
5. 景気とは何か、景気の実体を把握する
6. 景気の7つの側面
7. 景気局面のどこで買い、どこで売るべきか
8. 景気と選挙、経済と政治の関係は無視できない

5. 価格動向の変化にも目を凝らすべきである
6. 資産形成に最もふさわしい習性、2~4倍の波動を繰り返す
7. 景気敏感株のそれぞれの取り扱い品目

■ 第3部 成長株のとりえ方

1. 成長企業とは何か
2. 成長は「時代の変化」によってもたらされる
3. 成長企業の成長とは「売上高の成長」である
4. 何が企業の成長をもたらすのか、成長力の源泉
5. 新しい時代の到来、成長とは「新しさの追求」
6. 「構造的な変化」をとらえる～人口動態
7. 少しだけお手軽な「成長株の発掘法」

■ 第4部 バリューストックのとりえ方

1. 株価のバリューはPBRで測る、低PBR銘柄
2. 投資尺度としてのPBR
3. PBRが有効な時期、有効でない時期
4. PBRを用いたバリュー投資で重視すべき財務指標
5. 配当利回りがバリュー指標として有効な理由
6. 配当利回りを狙うべき銘柄は何か
7. 高利回り銘柄でチェックすべき指標
8. 高利回り銘柄でさらにチェックすべき項目

■ 第5部 売買テクニックに関する覚書

1. 買うべきタイミング、売るべきタイミング
2. 出来高の最小値に注目する
3. 出来高の最大値に着目する
4. 当講座のまとめ

マーケットの本質を探る

難易度 ★★☆☆☆

BT 行動経済学で学ぶトレード心理と戦略コース

eラーニング講座

FP 科目：金融 単位：AFP 7.5 / CFP 12.5

受講期間 3か月
 動画 約4時間08分
 テキスト 1冊
 テスト 1回
 受講料 22,000円(税込)

ねらいと特色

- ✓ 行動経済学の観点から、マーケットの本質を探ります。
- ✓ トレードをするうえで是非とも身につけたい「考え方」や「長期的成功のための極意」を体系的にステップ・バイ・ステップで学ぶことができます。
- ✓ 他人の、そして自分の中にも、気づかぬうちに存在する心理的バイアスを理解したうえで、利食い・損切りなど、トレードの原則を知ることができます。

対象者

- ✓ 行動経済学や行動ファイナンスに興味を持ち、それをトレードの戦略に活かしたい方
- ✓ マーケットの本質を理解したうえで、投資戦略のレベルアップを図りたい方
- ✓ 今まで学んだトレード手法に疑問や限界を感じている方、あるいは、「経験」と「勘」に頼るトレード手法から脱却したいと考えている方

カリキュラム

- 序章 トレードの成功に必要なもの
 1. トレードを長期的な成功に導く要因は何か
- 第1章 マーケットの本質を探る
 2. マーケットはどれほど合理的か
 3. マーケットは正しいか、それとも間違っているか
 4. 予想は当たらない (市場を出し抜くことは困難)
 5. 効率的な市場
 6. 市場のフィードバック機能
 7. 二つのフィードバックの関係
 8. 長期的トレードの可能性
 9. バブルへの対処法
 10. 相場は必然的に行き過ぎる
- 第2章 人間の心理構造を知らなければトレードの本当の意味は分からない
 11. 少し儲けて大きく損をする
 12. プロスペクト理論が示唆する投資家心理
 13. 人間の心理的バイアスが相場を形作る
 14. 予想どおりに不合理
- 第3章 トレードにおける真の収益源とそれを捉えるための諸原則
 15. トレーディングの収益源の探究
 16. ランダムではない真のトレンド
 17. トレンドの反転に備える
 18. ロスカットとプロフィット・テイク
 19. ポジション・テイクの原則
- 第4章 合理的に利益を上げる勝ち組投資家の投資戦略とリスク
 20. リスクプレミアム
 21. 分散投資と周期性の考慮
 22. 市場のミスプライスを突く
 23. ドリームファンド、LTCMの破たん
 24. 市場の瞬間的ミスプライスを突く
 25. 長期的非合理性
- 第5章 「敗者のゲーム」と「ぼろ儲け」
 26. 敗者のゲーム
 27. ぼろ儲けには何が必要か
 28. 非対称の収益機会の事例

数学と実務の接点分かる！

難易度 ★★☆☆☆

SU Excelで学ぶ市場の数学コース

eラーニング講座

FP 科目：金融 単位：AFP 6.0 / CFP 6.0

受講期間 1か月
 テキスト* 1冊
 テスト 1回
 受講料 11,000円(税込)

*テキストはPDFダウンロード形式です
紙媒体は付属しません

ねらいと特色

- ✓ 金融市場の実務に不可欠な数学を、数式の成り立ちまで懇切丁寧に解説します。
- ✓ Excelを利用して具体的な数値をはじき出す演習をします。
- ✓ 金融市場の話題がふんだんに盛り込まれているので、数学と実務との接点が理解できます。
- ✓ 指定教材とExcelを利用した演習で金融数学のスキルが着実に習得できます。

対象者

- ✓ これから金融機関への就職・再就職を希望されている方
- ✓ 仕事柄金融に対して基礎知識を必要とされる方
- ✓ 金融市場に興味関心のある方
- ✓ より金融実務に適した計算方法を知りたい方
- ✓ もちろん実際にマーケットの現場にいる方も

※この講座では数学の基礎的な知識が必要です。カリキュラムをご確認いただいた上でお申し込みください。

カリキュラム

- 第1章 市場の数学基礎
 1. 収益計算の基礎
 2. 収益分布
 3. 標準偏差
- 第2章 確率分布理解の急所
 1. 二項分布
 2. 正規分布
 3. ポワソン分布
- 第3章 価格変動の統計分析
 1. 相関
 2. 回帰
- 第4章 金利計算の実務
 1. 利息計算のポイント
 2. 利息計算の抽象化
- 付録 理論を技術に変える古典力学
 1. 価格変動性分析入門
 2. テイラー展開と二項展開
- 数学付録
 1. 指数と対数
 2. 正規分布、標準正規分布、対数正規分布

<演習用エクセル>

第1章～第4章のそれぞれについて、演習用のExcelシートが付属します。

FK ファイナンス基礎コース

eラーニング講座

課目：金融 単位：(本頁下段参照)

当講座は
Partごとに受講する
こともできます

ねらいと特色

- ✓ ファイナンス理論を学ぶ上で基礎となる知識を、入門レベルから網羅的に学習します。
- ✓ 長年にわたるシグマインベストメントスクールの教育ノウハウにより、難しい内容でもポイントを分かりやすく学ぶことができます。
- ✓ 金融の実務との関わりを念頭において説明しますので、実際の業務に役立つ理論的知識を習得できます。

各パートのご紹介

- ✓ 「Part 1 金利・債券数理の基本」では、ファイナンス理論を学ぶ上で特に重要な金利および債券数理の知識を基礎からじっくり学んでいただけます。豊富な演習問題と丁寧な解説で飛躍的に理解が進むことでしょう。
- ✓ 「Part 2 確率・統計／リスク管理の基礎」では、苦手な方も多い確率統計分野の知識を分かりやすく、効率的に学んでいただけます。VaRなどリスク管理の基礎知識も同時に修得できます。
- ✓ 「Part 3 コーポレート・ファイナンス」では、企業価値評価などのコーポレート・ファイナンス理論の基礎をコンパクトに学んでいただけます。実務でも重要な理論のポイントがスムーズに理解できるよう工夫された内容です。

カリキュラム

Part1 金利・債券数理の基本

- I. 金利と金利計算に関する基礎知識
 1. 金利に関する基礎知識
 2. 金利計算の基本
- II. 債券投資と債券利回りに関する基礎知識
 1. 債券の基礎知識
 2. 債券利回り
- III. 債券と金融商品の理論価格の考え方
 1. 現在価値とは
 2. 現在価値算出の実務的手法

Part2 確率・統計／リスク管理の基礎

- I. 確率・統計の基本知識
 1. 金融業務における確率・統計知識の必要性
 2. 確率・統計の基礎概念の説明
- II. 金融リスク管理の基本
 1. 金融リスク
 2. リスク量をどう表現するか
 3. VaRの基本概念
 4. 正規分布とリスク定量化
 5. 資産間の相関性とリスク
 6. パーゼル規制とは
- III. リスク管理と感応度
 1. 「感応度」の概念と意義
 2. 債券の利回り
 3. デュレーション概念の意味と意義

Part3 コーポレート・ファイナンス

- I. コーポレート・ファイナンス理論のフレームワーク
 1. コーポレート・ファイナンスで扱う問題
 2. 企業の捉え方
- II. 投資評価の考え方
 1. IRR
 2. NPVによる投資判断
 3. NPVによる投資判断とIRRによる投資判断
- III. 配当割引モデルによる株価算出
 1. 配当割引モデル
 2. サステイナブル収益率
- IV. 企業価値評価の考え方
 1. 企業価値の考え方
 2. DCF法による企業価値計算のポイント
 3. キャッシュフローについての考え方
 4. 企業価値評価の具体的な計算手法
 5. マルチプル法(類似企業比較法)
- V. 資本コストの考え方
 1. 加重平均資本コスト(WACC)
 2. CAPM理論の概要
- VI. 負債の利用と企業価値
 1. MM理論概要
 2. 負債を導入した場合の企業価値

対象者

- ✓ ファイナンス理論を学び始めたが、内容が難しくなかなか勉強が進まないという方
- ✓ 証券アナリストの勉強を始める、あるいは始めたばかりの方
- ✓ 難しいファイナンス理論のポイントを効率的に学びたいというニーズをお持ちの方

ラインナップ

科目名	受講期間	受講料(税込)
ファイナンス基礎コース	3か月	59,400円
ファイナンス基礎コース Part1	3か月	19,800円
ファイナンス基礎コース Part2	3か月	19,800円
ファイナンス基礎コース Part3	3か月	19,800円

教材構成

科目名	動画時間	テキスト	テスト
ファイナンス基礎コース	約13.5時間	3冊	3回
ファイナンス基礎コース Part1	約4.5時間	1冊	1回
ファイナンス基礎コース Part2	約4.5時間	1冊	1回
ファイナンス基礎コース Part3	約4.5時間	1冊	1回

FP 継続教育

科目名	課目	認定単位 (AFP/CFP)
ファイナンス基礎コース Part1	金融	7.5 / 8.5
ファイナンス基礎コース Part2	金融	7.5 / 10.0
ファイナンス基礎コース Part3	金融	7.5 / 10.5

※修了要件について
すべてのPartをまとめて受講する場合、修了テストはすべてのPartで70点以上取得する必要があります(平均70点以上ではありません)。



Part1～Part3それぞれを修了した時点で、各パートの単位が付与されます

統合リスク管理（ERM）のポイントを押さえる！

難易度 ★★☆☆☆

FM 金融機関のリスク管理 基礎知識コース

eラーニング講座

📄 課目：金融 単位：AFP 7.5 / CFP 15.0

受講期間 3か月

動画 約9時間

テキスト 1冊

テスト 1回

受講料 19,250円(税込)

ねらいと特色

- ✓ 金融リスク管理に必要な知識を一から学べるコースです。
- ✓ 市場リスク、信用リスク、オペレーショナルリスクから流動性リスクまでを扱います。
- ✓ 豊富な図表を使ってやさしく解説しますので、直感的な理解から始めることができます。
- ✓ 次の学習ステップや実務を視野に入れて、リスク量を計算する方法も解説します。

対象者

- ✓ これから、リスク管理業務を担当する方
- ✓ 市場（マーケット）部門、経営企画・財務部門、融資・審査部門など、金融リスクに密接な業務に携わる方
- ✓ 金融システム開発者
- ✓ ファイナンシャルプランナー（FP）の方

カリキュラム

■ 第1部 金融機関のリスク管理とは

1. 「リスク」「リスク管理」とは
2. リスクカテゴリー
3. 金融規制とリスク管理

■ 第2部 市場リスク管理

4. 市場リスク管理の基本業務
5. 感応度分析
6. VaR
7. 銀行勘定の市場リスク管理
8. 規制上の扱い

■ 第3部 信用リスク管理

9. 信用リスク管理の基本業務
10. 信用格付
11. ポートフォリオのリスク量計測
12. カウンターパーティリスク
13. 規制上の扱い

■ 第4部 オペレーショナルリスク管理

14. オペレーショナルリスク管理の基本業務
15. CSA
16. リスク量計測
17. 規制上の扱い

■ 第5部 流動性リスク管理場

18. 流動性リスク管理の基本業務
19. ギャップ分析
20. バランスシート分析
21. 規制上の扱い

■ 第6部 統合的リスク管理

22. 統合的リスク管理の基本業務
23. ストレステスト
24. 事業評価への応用
25. リスクアペタイト

※ 2025年春に全面改訂を予定しています。

金融リスク管理のキーワード！

難易度 ★★☆☆☆

VB バリュアット・リスクの基礎コース

eラーニング講座

📄 課目：金融 単位：AFP 4.5 / CFP 4.5

受講期間 3か月

動画 約3時間22分

テキスト 1冊

テスト 1回

受講料 19,250円(税込)

ねらいと特色

- ✓ 市場VaR、信用VaRそれぞれの意味、計測プロセスを解説し、計算事例を紹介します。
- ✓ VaRをリスク管理に活用する方法も説明します。
- ✓ バーゼル規制やリスクアペタイト・フレームワーク（RAF）も解説します。
- ✓ 計算シート例（Excelファイル）をダウンロードしてご活用いただけます。

対象者

- ✓ これから、リスク管理業務を担当する方
- ✓ 市場（マーケット）部門、経営企画・財務部門、融資・審査部門など、金融リスクに密接な業務に携わる方
- ✓ リスク管理に関するシステム開発に従事している方
- ✓ 「金融機関のリスク管理 基礎知識コース」をご受講いただいた方、もしくは、相当の知識をお持ちの方

カリキュラム

■ 第1章 金融機関のリスク管理

1. 金融機関のリスクとは
2. リスク管理の概要

■ 第2章 市場VaR

3. 市場リスク管理概要
4. 市場VaR計測方法
5. 分散共分散法
6. ヒストリカル法
7. 計測上の課題・留意点
8. バックテスト

■ 第3章 信用VaR

9. 信用リスクとは
10. 信用格付
11. 信用VaRの概要
12. 信用VaR計測方法
13. 計測上の課題・留意点

■ 第4章 VaRを活用したリスク管理

14. 統合リスク管理
15. ストレステスト
16. リスク管理サイクル

■ 第5章 リスク管理と金融規制

17. 金融規制の概要
18. バーゼル規制（第1の柱）
19. バーゼル規制（第2の柱）

■ まとめ リスク管理の今後の展望

20. リスクアペタイト・フレームワーク

これから金融数理を学ぶ方、「証券アナリスト」にチャレンジする方に!

難易度 ★★★★★

M3 金融数理Σ3級コース

通信教育講座

受講期間 3か月

テキスト 3冊

添削課題 3回

受講料 22,000円(税込)

ねらいと特色

- ✓ 金融に必要な数理知識を基本から効率的に学べるテキストです。
- ✓ 必要な数理知識を厳選し、完全に理解していただきたい部分は省かず説明し、ざっくりとで良い部分は直観的に説明しています。
- ✓ 数値による計算例をふんだんに取り入れ具体的に理解できるようにしています。

対象者

- ✓ 証券アナリスト (CMA) 試験にチャレンジしたいが、数学が苦手という方
- ✓ 金融数理のファースト・ステップ教材を探している方
- ✓ 金融数理を学びたいが数学が苦手という方

カリキュラム

■ 第1分冊 金利と債券利回り／ 現在価値算出に関する計算

I 金利計算

1. 単利／複利計算
2. 連続複利について
3. EXCEL による計算例

II 債券利回り

1. 債券の価格変動
2. 単利利回り／複利利回り
3. 複利利回りの意味
4. 等比数列の概念と和の公式
5. スポット・レート

III 現在価値計算

1. 金融商品の価格の考え方
2. 元利均等弁済額の算出
3. 永久年金の現在価値計算
4. 配当割引モデル
5. 利付債券の理論価格

■ 第2分冊 微分／積分計算

I 微分とは

1. デュレーションとは
2. 微分とは
3. 導関数の求め方

II デュレーションの導出と利用

1. デュレーションの導出
2. デュレーションの意味

III いろいろなデュレーションとその意味

1. 修正デュレーション
2. マコーレー・デュレーション
3. デュレーション概念による債券特性の分析

IV 感応度に関するその他の話題

1. オプションのデルタ
2. コンバクシティ

V 積分

1. 原始関数と不定積分
2. 定積分
3. あらためて定積分の定義

■ 第3分冊 確率／統計

I 確率の基礎

1. 確率変数・確率分布の概念
2. 期待値
3. 分散と標準偏差

II 確率変数間の関係の把握

1. 共分散と相関係数

III ポートフォリオのリスク

1. ポートフォリオのリスク計算
2. 独立な確率変数という概念

IV 連続型の確率変数の概念と正規分布

1. 連続型の確率変数とは
2. 正規分布
3. VaRの考え方

ビジネスの素養として、これだけは!

難易度 ★☆☆☆☆

CB コーポレート・ファイナンス入門コース

eラーニング講座

科目: ライフ 単位: AFP 7.5 / CFP 11.5

受講期間 2か月

動画 約5時間20分

テキスト 1冊

テスト 1回

受講料 13,750円(税込)

ねらいと特色

- ✓ これからファイナンス (コーポレート・ファイナンス:CF) を学習する方へ、その第一歩となる講座です。
- ✓ 歴史的な背景や、現在のあり方など、押さえておきたいポイントを分かりやすく解説します。

対象者

- ✓ コーポレート・ファイナンスの概要を学びたい方
- ✓ 金融機関の法人営業・担当者
- ✓ 事業戦略などを考える経営企画部門の担当者
- ✓ 証券アナリスト (CMA) 資格に興味を持っている方

カリキュラム

■ 第1部 ファイナンスの基礎知識

1. 資金移転機能
2. 金利
3. 銀行の機能
4. 通貨とマネーストック
5. 資金決済システム

■ 第2部 ファイナンスのための各種市場と相場形成

6. 株式市場と株価
7. 債券市場と債券価格・利回り
8. 為替市場と為替レート
9. デリバティブ市場とデリバティブの価格

■ 第3部 実践コーポレート・ファイナンス

10. CF全体を考察する
11. CFとは何か
12. CFの多様性
13. CFにおける資金調達
14. CFにおける資金運用
15. CFにおける運用と調達のマッチング
16. CFと企業財務諸表の収益性指標
17. CFと金融機関
18. CFと証券会社
19. CFと企業統治
20. CFと株式価値評価
21. CFと企業格付け
22. CFと国際経営
23. 資本コスト
24. ROE (自己資本利益率)
25. EVA (経済的付加価値) による評価
26. MVA (市場付加価値) による評価
27. 大型化するM&Aとコーポレート・ファイナンス
28. メインバンク制度の推移
29. 株式持合関係の変遷
30. ゼロ金利・マイナス金利下におけるコーポレート・ファイナンス

基礎からきっちり学べる!

難易度 ★★★★★

CF コーポレート・ファイナンス基礎コース

通信教育講座

📄 科目: ライフ 単位: AFP 7.5 / CFP 15.0

受講期間 3.5か月

テキスト 3冊

添削課題 4回

受講料 22,000円(税込)

ねらいと特色

- ✓ DCFを中心とする企業価値評価の考え方、キャッシュフローの把握方法、MM理論などの中心テーマを効率的、かつ系統だてて学ぶことができます。
- ✓ 証券アナリスト (CMA) 試験の「コーポレート・ファイナンス」分野の対策にも役立ちます。
- ✓ 計算例をふんだんに盛り込み、数理的なテーマも分かりやすくなっています。
- ✓ 現在注目を浴びているESGファイナンスも取り上げています。

対象者

- ✓ コーポレート・ファイナンスの基本を効率的に学びたい方
- ✓ コーポレート・ファイナンスの本格的なテキストを学ぶための基礎力を身につけたい方
- ✓ 株式・企業価値評価、M&Aなどのビジネスに関わる方

カリキュラム

■ 第1分冊 ファイナンスの基礎

- I 企業をとりまく環境
 1. 企業の意思決定と経営目的
 2. 企業価値の最大化
 3. 企業の意思決定とコーポレート・ファイナンス
 4. ESGとコーポレート・ファイナンス
- II 資産価値の評価
 1. 貨幣価値の時間換算
 2. 正味現在価値 (NPV) と内部収益率 (IRR)
 3. 金融商品の評価
- III リスクとリターンの関係
 1. ファイナンス理論におけるリスクの概念
 2. ポートフォリオのリスク
 3. CAPMの概要
 4. β 値

■ 第2分冊 企業価値と企業の投資判断

- IV 企業会計原則と財務諸表 (会計データの利用)
 1. 損益計算書と貸借対照表の基本
 2. 損益計算書と貸借対照表の各項目
 3. キャッシュフロー計算書
- V 資本コストと企業価値計算
 1. 企業価値評価の基本的な手法
 2. 企業価値評価の基本的な枠組み
 3. フリーキャッシュフロー
 4. 資本コスト
 5. 企業価値の計算
 6. マルチプル法による株式価値算定
- VI 企業の意思決定 その1 ~投資判断
 1. キャッシュフロー予測
 2. 投資決定の方法

■ 第3分冊 企業の資本構成と配当政策 ESGとコーポレート・ファイナンス

- VII 企業の意思決定 その2 ~資本構成
 1. 伝統派の見解による資本構成と企業価値
 2. MM理論 3. MM理論と株主資本コスト
 4. 法人税を考慮した場合の資本構成と企業価値・資本コスト
 5. 経営不振下での企業行動と財務制限条項
 6. 多様化する資金調達手段
- VIII 企業の意思決定 その3 ~配当政策
 1. MMの無関連性命題
 2. 税金がある場合の配当政策
 3. 株式分割と自社株取得
 4. メッセージ性仮説
 5. 現実の配当政策
- IX ESGとコーポレート・ファイナンス
 1. ESGとサステナビリティの潮流
 2. ESG投資の評価
 3. サステナブルファイナンス

The first step to learn "Corporate Finance" in English

難易度 ★★☆☆☆

CA 英語で学ぶコーポレート・ファイナンス入門コース

eラーニング講座

📄 科目: ライフ 単位: AFP 7.0 / CFP 7.0

受講期間 2か月

テキスト 1冊

テスト 1回

受講料 13,200円(税込)

ねらいと特色

- ✓ ご好評いただいている「コーポレート・ファイナンス基礎コース」「同入門コース」のエッセンスを英語で学ぶことができます。
- ✓ 日本語による分かりやすく簡潔な解説に加え、英語のフレーズや用語を見開きで解説します。
- ✓ 貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書の英語版も掲載。企業分析にも役立ちます。
- ✓ テキストを一通り学習したら、英語で出題される修了テストにも挑戦しましょう。

対象者

- ✓ コーポレート・ファイナンスを簡潔に学びたい方
- ✓ コーポレート・ファイナンスを本格的に学ぶための基礎を身につけたい方
- ✓ ファイナンスや企業の意思決定などに関する英語表現に興味がある方
- ✓ 外国企業に投資している方で、企業業績や財務情報を分析したい方

カリキュラム

Part1 ファイナンスの基礎

- The Basis of Corporate Finance
1. 企業価値とは
 2. 現在価値
 3. 企業価値の現在価値
 4. 企業のキャッシュフロー

Part2 企業価値

- Corporate Value
5. 企業が生み出すキャッシュフロー
 6. 運転資本の増減
 7. 企業価値の基本的枠組み
 8. 資本コスト
 9. 企業価値の計算

Part3 企業の意思決定

- A Corporate Decision-making
10. 企業の意思決定 1 投資判断
 11. 企業の意思決定 2 資本構成
 12. 法人税を考慮した場合の資本構成と企業価値・資本コスト
 13. 経営不振下での企業行動と財務制限条項
 14. 企業の意思決定 3 配当政策
 15. 株式分割と自社株取得

Part4 多様化する資金調達

- Diversified Funding Sources
16. 多様化する資金調達
 17. 銀行の預金業務 (受信業務)

Part5 お役立ち資料

- For your reference
18. 主な財務分析指標
 19. 貸借対照表の英語表記
 20. 損益計算書の英語表記
 21. キャッシュフロー計算書の英語表記

FS 英文決算書の読み方基礎コース

eラーニング講座

課目：タックス 単位：AFP 7.5 / CFP 12.0

受講期間 3か月
 動画 約3時間15分
 テキスト 1冊
 テスト 1回
 受講料 15,400円(税込)

ねらいと特色

- ✓ 財務分析に必要な英語のフレーズが身につきます。
- ✓ 英語と日本語の両方で決算書を読み、活用できる知識が得られます。
- ✓ 図解を多用することにより、パッと見れば分かる思考フレームワークも身につきます。

対象者

- ✓ 財務諸表を英語で理解したい方
- ✓ 決算書を英語で作る必要がある方
- ✓ 外国企業への投資を考えている方
- ✓ ビジネスの中心となる大事な英語を学びたい方

カリキュラム

■ 第1部 はじめに (学習にあたって)

- ・「英文決算書を読む」ということ

■ 第2部 図解で学ぶ損益計算書の基本

- ・4つの主な財務諸表 (Financial statements)
- ・損益計算書 (Income statement) の大まかな形
- ・売上総利益率／粗利益率 (Gross profit margin) の分析
- ・営業利益率 (Operating profit margin) の分析
- ・当期純利益率 (Net income margin) の分析

■ 第3部 図解で学ぶバランスシートの基本

- ・バランスシート (Balance sheet) の形
- ・バランスシートの3つのカテゴリーとそれぞれの内容
- ・流動比率 (Current ratio) と当座比率 (Quick ratio) の分析
- ・固定比率 (Fixed ratio) と固定長期適合率 (Fixed assets to long-term capital ratio)
- ・自己資本比率 (Capital adequacy ratio) と負債比率 (Debt ratio) の分析
- ・バランスシート・損益計算書を両方使った分析

■ 第4部 英語の決算書を読む

- ・実際の企業の財務諸表を分析する

■ 第5部 さまざまな産業の財務構造

- ・収益構造の違い、経営体質の違いを分析してみよう
- ・経営効率の違いを産業別効率性分析で知ろう

■ お役立ち資料

- 英文財務諸表早わかりシート

■ 基本テキスト ■

建宮 努 著「ゼロから始める! すぐに役立つ! 英語の決算書の読み方」(アルク)

「英文」での会計が身につく。IFRSの会計ルールが分かる。

EA 英文会計の基礎コース

eラーニング講座

課目：タックス 単位：AFP 7.5 / CFP 15.0

受講期間 3か月
 動画 約5時間
 テキスト 1冊
 テスト 1回
 受講料 17,600円(税込)

ねらいと特色

- ✓ 国際財務報告基準 (IFRS) の会計ルールを学習します。
- ✓ 「英語」での「会計」が分かります。練習問題も多数用意しています。
- ✓ 図解を多用することにより、パッと見れば分かるテキストです。
- ✓ 「英文決算書の読み方基礎コース」の姉妹コースです。

対象者

- ✓ IFRSの会計ルールを英語で理解したい方
- ✓ 決算書を英語で作る必要がある方
- ✓ 初めて会計を学ぶ方。特に、財務・会計に関する英語が得意ではない方
- ✓ ビジネスの中心となる大事な英語を学びたい方

カリキュラム

■ 第1部 学習にあたって

- ・英文会計はあなたにチャンスをもたらす知識

■ 第2部 国際財務報告基準 (IFRS) とは

- ・世界100カ国以上で使われる国際的な会計ルールです

■ 第3部 会計 (Accounting) とは

- ・「会計」の本来の意味は「説明する」ということ

■ 第4部 複式簿記 (Double entry system)

- ・プラスとマイナスを2つの場所に記録する

■ 第5部 仕訳と転記 (Journalizing & Posting)

- ・さまざまな仕訳

■ 第6部 試算表 (Trial balance)

- ・試算表の目的と限界

■ 第7部 修正仕訳 (Adjusting Entry)

- ・修正仕訳の2つのタイプ
- ・「前払・前受タイプ」と「未収・未払タイプ」

■ 第8部 減価償却 (Depreciation)

- ・減価償却の仕訳と計算

■ 第9部 決算：精算表 (Work sheet) から

財務諸表 (Financial statements) を作る

- ・決算までの大まかな流れ
- ・精算表を作る ・財務諸表を作る

■ 第10部 複数年にわたる会計処理 (社債を例にして)

- ・時間価値 (Time value of money)
- ・将来価値 (Future value) と現在価値 (Present value)
- ・年金 (Annuity) ・社債 (Bond)
- ・社債のプレミアム、ディスカウント発行
- ・プレミアム、ディスカウントの複数年償却 (実効金利法)

■ 基本テキスト ■

建宮 努 著「ゼロから始める英文会計入門 <第3版>」(中央経済社)

企業分析の名人芸！ キャッシュフロー分析を中心に

難易度 ★★☆☆☆

SA 財務諸表と財務分析コース

eラーニング講座

📄 課目：タックス 単位：AFP 7.5 / CFP 14.0

受講期間 3か月

動画 約4時間08分

テキスト 1冊

テスト 1回

受講料 17,600円(税込)

ねらいと特色

- ✓ 誰でも自然に決算書を読みこなす力が身につくよう解説します。
- ✓ 財務諸表を分析し、会社の実態に迫るための手法を学習します。
- ✓ 経営者の経営戦略、経営能力を分析することも目指します。
- ✓ 企業経営に必要な事業計画についても解説します。
- ✓ 講師の長年にわたる業務経験、研修ノウハウから培われた「名人芸」を伝授します。

対象者

- ✓ 企業の決算書を読みこなす力を身に付けたい方
- ✓ 投資・融資部門、財務部門等に配属された方
- ✓ 企業の信用状態を把握したい方、信用調査や企業審査のプロを目指す方
- ✓ ファイナンシャルプランナー（FP）の方

カリキュラム

■ 第1部 財務諸表の概要

1. 財務諸表とは
2. 財務諸表の重要性
3. 財務諸表の種類
4. 貸借対照表
5. 損益計算書
6. キャッシュ・フロー計算書

■ 第2部 B/Sとキャッシュフロー（企業が存続できるか）

7. キャッシュフローサイクル
8. 貸借対照表（ある一定時点のキャッシュフローの断面図）
9. 回転期間の重要性

10. 貸借対照表（B/S）の作成

11. キャッシュフローと資金運用表（B/Sの増減表）
12. キャッシュフローの計算書の種類
13. 資金バランス表の作成（B/Sを資金の残高表に組み替え）

■ 第3部 収益力をみる（企業が永遠に持続できるか）

14. 収益の最重要指標（会計ベース、ROAとROE）
15. 事業部門別（セグメント別）分析
16. 損益分岐点分析
17. 連結決算

18. 税務申告書の概要

19. 会計ルール変更の変遷

■ 第4部 事業計画の作成と経済性評価

20. 割引キャッシュフロー（DCF）
21. 設備投資の経済性計算
22. 事業計画の作成

■ 第5部 財務分析

23. 財務分析の手法
24. 財務分析の種類
25. 収益性分析
26. 安全性分析
27. 生産性分析

財務諸表から経営戦略に迫る・・・「推理の面白さ」を味わおう

難易度 ★★★★★

IZ 財務分析アドバンス「いい会社の見つけ方」コース

eラーニング講座

📄 課目：タックス 単位：AFP 7.5 / CFP 7.5

受講期間 3か月

動画 約3時間30分

テキスト 1冊

テスト 1回

受講料 24,200円(税込)

ねらいと特色

- ✓ 本コースは「財務諸表と財務分析コース」のアドバンス編の位置づけです。
- ✓ 財務分析から経営者に迫り、顧客満足度の高い製品・商品・サービスを提供し続け、社会に貢献する「いい会社」を探します。経営者の力や経営戦略の結果は財務諸表に現れます。逆に、財務諸表から経営戦略や経営者の力を推し量ります。財務諸表の数字を眺めながら実際の企業を思い浮かべます。これには推理の面白さがあります。

対象者

- ✓ 財務分析の基礎知識を持ち、財務三表の見方を知っている方
- ✓ 企業の決算書を読み、さらに深堀りしたい方
- ✓ 投資・融資部門、財務部門に従事している方、信用調査や企業審査のプロを目指す方、FPの方
- ✓ 「財務諸表と財務分析コース」を受講された方

カリキュラム

■ 第1部 財務分析の実際

- ・財務諸表を見る姿勢
- ・財務三表
- ・財務分析の進め方
- ・財務分析上の留意点

■ 第2部 財務分析のケーススタディ

- ・実際の財務諸表を見る
- ・業績推移の分析
- ・B/Sの分析 ・P/Lの分析
- ・キャッシュフロー分析
- ・財務分析の最重要指標
- ・競合企業との比較
- ・財務分析から得られる事業の実態と戦略

■ 第3部 財務分析に必要なその他の知識

- ・連結決算
- ・セグメント情報とIFRS
- ・資金運用表の作成手順

■ 第4部 主要業種における財務分析のポイント

- ・メーカーの財務分析（自動車）（テスラとトヨタ）
- ・大手総合小売り（セブン&アイとイオンの事業セグメント分析）
- ・不動産業界（タマホーム、三栄建築設計、ヒューリック）

- ・小売り（メガネチェーン）（ジズHとパリミキH）
- ・IFRSの事例（SBGとアーム）
- ・外食産業（ハイデイ日高とリンガーハットのミニケース）

■ 第5部 練習問題

- ・B/Sと資金運用表の作成
- ・回転期間

KZ 企業会計と財務分析Σ3級コース

通信教育講座

受講期間 3.5か月

テキスト 3冊

添削課題 4回

受講料 15,400円(税込)

ねらいと特色

- ✓ 企業が行う会計の仕組みと、決算書等から企業の財務内容を分析するための知識が学べるテキストです。
- ✓ 会計の原理的な話から始まり、実際の企業会計におけるポイント事項、そして決算書から企業を分析するための各種財務指標の見方等、これ一冊で金融パーソンに必要な財務諸表の知識が学べます。

対象者

- ✓ 効率的、かつ網羅的に企業財務を学びたい方
- ✓ 金融実務的な視点で企業会計を実践的に学びたい方
- ✓ 証券アナリスト(CMA)試験の「財務分析」分野が苦手な方

カリキュラム

■ 第1分冊 企業会計Part1

I 会計の基礎

1. 企業会計の枠組み
2. 企業会計の基盤

II 貸借対照表

1. 資産
2. 負債
3. 純資産

■ 第2分冊 企業会計Part2

I 損益計算書

1. 損益の計算
2. 損益計算書の各項目

II キャッシュフロー計算書

1. 対象と様式
2. キャッシュフロー計算書の作成

III 株主資本等変動計算書

1. 株主資本等変動計算書の様式
2. クリーン・サープラス

IV 連結財務諸表

1. 企業集団と企業結合
2. 連結財務諸表の作成

■ 第3分冊 財務分析

I 財務分析とは

1. 財務分析とは
2. 財務分析の手法

II 収益性分析

1. 売上高利益率
2. 資本利益率
3. 損益分岐点分析
4. 売上高費用率分析

III 財務安定性分析

1. 財務構造分析
2. その他の比率
3. キャッシュフロー分析

IV 効率性・生産性・成長性分析

1. 効率性分析
2. 生産性分析
3. 成長性分析
4. デュボン・システム

V 財務分析のパターン認識

たくさんの例題を考え、好ましいパターンを大局的につかむ

VI 財務分析の実地応用(1)

1. モデル企業の状況
2. 財務分析の実行

VII 財務分析の実地応用(2)

1. 収益性分析/財務安定性分析
2. 分析結果の解釈
3. 結果の表示

VIII 財務分析の立ち位置

1. 企業会計の動向と財務分析の関係
2. 財務分析と企業分析の関係

あなたのビジネスに直結!

MB ビジネス・経営のための管理会計入門コース

eラーニング講座

📄 課目: ライフ 単位: AFP 7.5 / CFP 12.0

受講期間 3か月

動画 約6時間10分

テキスト 1冊

テスト 1回

受講料 18,150円(税込)

ねらいと特色

- ✓ 管理会計を知り、活用するための入門編です。
- ✓ 管理会計の目的や意味が理解でき、管理会計特有の専門用語や考え方、そして分析手法も学べます。
- ✓ 管理会計を活用して、ビジネスの改善が図れます。
簿記検定や公認会計士試験の入門にもなる練習問題を随所に入れてあります。

対象者

- ✓ 管理会計について学びたい方
- ✓ 財務会計は知っているが、管理会計の経験がほとんどない方
- ✓ 簿記検定や公認会計士の資格に興味がある方

カリキュラム

■ 第1部 管理会計とは

- ・企業と会計
- ・財務会計と管理会計の比較
- ・管理会計の役割

■ 第2部 意思決定

- ・意思決定と埋没コスト・機会コスト
- ・アウトソーシングと意思決定
- ・限界利益・限界利益と意思決定

■ 第3部 CVP分析

- ・売上個数ベースのCVP分析
- ・売上金額ベースのCVP分析
- ・量産効果とリスク・安全余裕率
- ・CVP分析の活用・固変分解

■ 第4部 投資評価の手法

- ・投資のキャッシュ・フローとタックス・シールド
- ・投資計画と評価手法
- ・投資評価の割引率・IRR法
- ・NPV法・NPVとIRRの関係
- ・NPVと企業価値評価

■ 第5部 標準原価計算

- ・製造原価
- ・間接労務費と間接経費の計算
- ・販売価格の決定
- ・原価標準・原価管理
- ・原価差異・原価企画

■ 第6部 ABC(活動基準原価計算)

- ・ABCとアクティビティ・コスト・ドライバー
- ・ABCと製造間接費の配賦例・ABCの実際
- ・ABCと伝統的配賦の比較・コスト・ベヘビア
- ・ABM(活動基準マネジメント)
- ・生産・在庫管理とコスト管理

■ 第7部 業績管理

- ・マネジメントと組織・責任センター
- ・ROIとデュボン・システム
- ・業績指標と業績評価
- ・決算書を可視化する

■ 第8部 BSC(バランス・スコアカード)

- ・BSCとは・戦略マップ

VUCAの時代。すべてのビジネスパーソンが身につけたい

難易度 ★★☆☆☆

受講期間 3か月
 動画 約1時間02分
 テキスト 1冊
 テスト 1回
 受講料 26,400円(税込)

ST 企業戦略の基礎知識コース

eラーニング講座

ねらいと特色

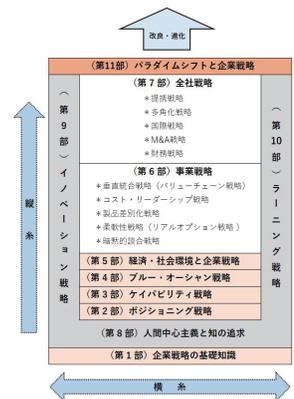
- ✓ すべてのビジネスパーソンに向けて企業戦略の目的と基本を、やさしく簡潔に説明します。
- ✓ 最新の知見を取り入れながら、「体系的かつ実践のための企業戦略」を解説しています。
- ✓ 実践力や応用力を生み出すための「源泉」や「考え方の基本」、すなわち「企業戦略の思考軸」が身につくプログラムです。

対象者

- ✓ 企業戦略に関する様々なキーワードについて、基本から学びたい方
- ✓ 企業戦略を知りたいが、MBAコースはハードルが高いと感じている方
- ✓ リーダーとして活躍されたい方、もしくは活躍中の方

カリキュラム

- | | |
|--------------------|----------------------|
| ■ 第1部 企業戦略の基礎知識 | ■ 第7部 全社戦略 |
| ■ 第2部 ポジショニング戦略 | ■ 第8部 人間中心主義と知の追求 |
| ■ 第3部 ケイパビリティ戦略 | ■ 第9部 イノベーション戦略 |
| ■ 第4部 ブルー・オーシャン戦略 | ■ 第10部 ラーニング戦略 |
| ■ 第5部 経済・社会環境と企業戦略 | ■ 第11部 パラダイムシフトと企業戦略 |
| ■ 第6部 事業戦略 | |



難しい数式を避けながら、やさしく学べる！

難易度 ★★☆☆☆

NB 日経225オプション・トレーディング初級コース

eラーニング講座

④ 課目：金融 単位：AFP 7.5 / CFP 14.0

受講期間 2か月
 動画 約8時間10分
 テキスト 1冊
 テスト 1回
 受講料 22,000円(税込)

ねらいと特色

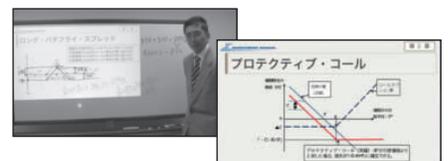
- ✓ 日経225オプション取引に焦点を絞り、トレーディングに応用するため書かれた入門および初級編の講座です。
- ✓ ブラック・ショールズ式など数式は極力避け、実践的でありながらオプションという商品の特性、それに基づいたトレーディング戦略を詳しく丁寧に説明します。
- ✓ 個人のトレーダーでオプションを勉強したい方や金融機関でリテールを担当し、日経225オプション取引の基本を知りたい方に最適です。

対象者

- ✓ 日経225オプション取引を始めたい方
- ✓ 日経225先物取引は知っているがオプションはよくわからない方
- ✓ オプションの基本的な利用方法や戦術を知りたい方

カリキュラム

- | | |
|--|--|
| <p>■ 第1章 日経平均オプションの入門の準備</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日経平均オプションとは 2. 日経平均オプションの具体例 3. ペイオフ・ダイアグラム：
満期時点の日経平均とオプションの関係 4. 日経平均オプション取引の基本的なテクニカルターム 5. 証拠金とオプションの売買の関係 <p>■ 第2章 日経平均オプション入門</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日経平均オプションの概要 2. 日経平均オプション価格の特徴 | <ol style="list-style-type: none"> ①行使価格別にみるコールとプットの価格の違い ②日経平均株価とオプション価格の関係 ③日経平均オプションと満期の関係 <p>コラム「オプション理論とブラックマンデー」</p> <p>■ 第3章 日経平均オプション初級編</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な投資戦略 <ol style="list-style-type: none"> ①アンカバー・ポジション ②ヘッジ戦略 ③スプレッド戦略 ④コンビネーション戦略 2. プレミアムの本質価値と時間価値 <ol style="list-style-type: none"> ①本質価値と時間価値 ②タイム・ディケイ ③イン・ザ・マネー、アット・ザ・マネー、アウト・オブ・ザ・マネー 3. コールとプットと先物の大事な関係
コラム「日経平均リンク債」 |
|--|--|



NI 日経225オプション・トレーディング中級コース

eラーニング講座

FP 課目：金融 単位：AFP 7.5 / CFP 15.0

受講期間 2か月

動画 約9時間40分

テキスト 1冊

テスト 1回

受講料 33,000円(税込)

ねらいと特色

- ✓ 日経225オプション取引の実践的なリスク管理を学ぶ講座です。
- ✓ 初歩的な感応度である「デルタ」「ガンマ」「セータ」「ベガ」を使ったリスク管理を、実際の取引データから学べます。
- ✓ 数式による理論的な解説をできる限り避け、実践的な理解を目指しています。
- ✓ 個人のトレーダーで感応度によるリスク管理を勉強し始めた方や、金融機関でオプションの感応度を実務的に理解したい方に最適です。
- ✓ 講義で使用しているエクセルシートをダウンロードして、ご利用いただくことが出来ます。

カリキュラム

■ 第1章 理論的な準備

1. プレミアムの決定要因と計算式
 - ① プレミアムを「確率的に」見積もること
 - ② ボラティリティとプレミアム
 - ③ オプション価格を計算してみましょう
- コラム「日経平均リンク債とその影響」

■ 第2章 リスク管理の基礎

1. プレミアムと感応度
 - ① 日経平均先物価格（日経平均現物）とプレミアムの関係1（デルタ）
 - ② 日経平均先物価格（日経平均現物）とプレミアムの関係2（ガンマ）

- ③ デルタとガンマによるプレミアム変化の近似
 - ④ ボラティリティとプレミアムの関係（ベガ）
 - ⑤ 満期までの期間とプレミアムの関係（セータ）
 - ⑥ 補足：満期までの金利とプレミアムの関係（ロー）
2. 実践的なグリークスとオプションのリスク管理
 - ① グリークスを使ったオプション価格のシミュレーション
 - ② グリークスを使ったポートフォリオリスクの把握

3. 市場の変化とオプションのリスク管理
 - ① デルタヘッジとガンマ・トレーディング戦略
 - ② ボラティリティ（ベガリスク）によるトレーディング戦略
 - ③ ボラティリティ・サーフェス（Volatility Surface）

コラム「1年やSQ日をどう考えるか」



F3 フューチャー業務初級コース

通信教育講座

FP 課目：金融 単位：AFP 7.5 / CFP 9.0

受講期間 2.5か月

テキスト 2冊

添削課題 3回

受講料 16,500円(税込)

ねらいと特色

- ✓ フューチャー（先物）について、理論及び具体的な商品の特徴と構造が基本から学べます。
- ✓ 実際の商品を使って説明が行われているので実践的な知識が身に付きます。

対象者

- ✓ フューチャー業務について一通りの知識を得たい方
- ✓ 実際の各種フューチャー商品の特徴や、制度も含めた仕組みをきちんと理解したい方

カリキュラム

■ 第1分冊 フューチャーの基礎知識

- I フューチャーの基礎
 1. フューチャーとフォワード
 2. フューチャーの原資産とフューチャーの寿命
 3. フューチャーにおけるポジション概念と決済
 4. フューチャー・マーケットの基本的仕組み
 5. フューチャーの投資収益率と投資リスク
 6. フューチャーの存在意義
 7. フューチャーの歴史と種類

II 商品フューチャーの価格決定の仕組み

1. お金の時間価値：現在価値と将来価値
2. フューチャー価格の決まり方
3. フューチャー価格の基本公式
4. 保有費用を考慮に入れた場合のフューチャー価格

III 金融フューチャーの価格決定の仕組み

1. 商品フューチャーと金融フューチャーの相違点
2. 金融フューチャー価格決定のメカニズム
3. 債券フューチャー価格とコンバージョン・ファクター
4. フューチャー価格決定要因：まとめ

■ 第2分冊 フューチャー取引の実務への活用

- I フューチャーを使ったヘッジングの一般理論
- II 債券フューチャーの活用方法
- III ユーロ円金利フューチャーの活用方法
- IV 株価指数フューチャーの活用方法
- V フューチャー取引の金融商品への活用例

オプションの基本はこれで学ぼう！

難易度 ★★★★★

03 オプション業務Σ3級コース

通信教育講座

受講期間 3.5か月
 テキスト 3冊
 添削課題 4回
 受講料 22,000円(税込)

ねらいと特色

- ☑ オプション取引の基本的なしくみ、損益発生仕組み、投資戦略などを学ぶことができます。
- ☑ 一般に難解と言われるオプション取引を丁寧に基本から説明しているので、無理なく取引の本質と特徴を学ぶことができます。
- ☑ 難しい数式はほとんど出てきません。数学が苦手な方でも楽に勉強できます。

対象者

- ☑ オプション取引を初歩から学びたい方
- ☑ オプション取引の金融における利用法など実務的にオプション取引を知りたい方

カリキュラム

■ 第1分冊 オプション取引/オプション・プレミアムの基礎知識

1. オプション取引の歴史
2. 多彩なオプションの概要
3. オプション取引とは
4. 基本的なオプション投資戦略とペイオフ・ダイアグラム
5. プレミアムの本質価値と時間価値
6. オプション・プレミアムの決定要因
7. 満期日における株価とオプション・プレミアムの価値
8. 2項モデルによるオプション・プレミアムの算出
9. プット・コールパリティ

■ 第2分冊 ブラック=ショールズ式の活用とオプション投資戦略

1. ブラック=ショールズ式とは
2. ブラック=ショールズ式によるオプション・プレミアムの算出
3. オプション取引におけるボラティリティの重要性
4. 決定要因とプレミアムの関係を用いた戦略
5. 複数のオプション・ポジションの各種感応度分析と戦略
6. オプションを用いたヘッジ戦略
7. オプションを用いた裁定取引

■ 第3分冊 オプション市場の仕組みとオプション取引の応用

1. 金融オプション取引市場と種類
2. 株価指数オプション取引の仕組み
3. 国債オプション取引の仕組み
4. 通貨オプション取引の仕組み
5. オプション取引の応用
6. 第2世代のオプション取引

※ LIBOR廃止の影響と変動金利の指標について、補足資料を同封しております。

難しい"オプション理論"もグングンわかる！

難易度 ★★★★★

02 Excelファイル付き オプション業務Σ2級コース

通信教育講座

受講期間 3か月
 テキスト 3冊
 添削課題 3回
 受講料 30,800円(税込)

ねらいと特色

- ☑ オプション評価の基本的な考え方やリスク管理手法、仕組み商品への利用例など、一般の金融パーソンに必要なオプション知識はこれで十分です。
- ☑ Excelファイルに収められた豊富な計算例で、難しい数式なども、抵抗なく学ぶことができ、実践的な知識が身に付くように配慮されています。

対象者

- ☑ オプション取引の理論や仕組みを理解したい方
- ☑ 本格的な金融工学の勉強を始めるためのファースト・ステップ教材を探している方
- ☑ 金融機関のデリバティブ業務に携わる方

カリキュラム

■ 第1分冊 リスク中立評価法によるオプション・プレミアムの評価

1. 無裁定理論とは
2. 2項モデルによるプレミアムの算出
3. リスク中立評価法によるプレミアムの算出
4. ブラック=ショールズモデルとその応用
5. オプションを理解するために必要な数学知識

■ 第2分冊 オプション感応度とその活用方法

1. オプション感応度とは
2. デルタについて
3. ガンマについて
4. セータについて
5. ベガについて
6. ローについて
7. 感応度の活用方法

■ 第3分冊 更なるオプションの理解と実際の金融商品への応用

1. ボラティリティについて
2. エキゾチック・オプションについて
3. 実際の商品への応用例

※ LIBOR廃止の影響と変動金利の指標について、補足資料を同封しております。

S3 スワップ業務Σ3級コース

通信教育講座

ねらいと特色

- ☑ スワップ取引の基本的なしくみや、金融における利用法などが理解できます。
- ☑ スワップ取引、契約の具体例などが多数盛り込まれており、実務的な知識が身に付きます。
- ☑ 時価評価やリスク管理についても基本的な考え方を説明しています。

対象者

- ☑ スワップ取引を初歩から学びたい方
- ☑ スワップ取引の金融における利用法など実務的にスワップ取引を知りたい方

カリキュラム

■ 第1分冊 スワップ取引の基礎知識

I 導入

1. スワップ取引とは
2. スワップ取引の具体例

II スワップ取引の基礎知識

1. 主なスワップ取引の種類
2. 金利スワップの基礎知識
3. 通貨スワップの基本知識
4. スワップ取引の歴史
5. スワップ・マーケットの基礎知識

III スワップ取引はどのように利用されるのか

1. 変動金利と固定金利の交換
2. キャッシュフローの通貨を変換
3. 仕組商品組成のツール
4. 金融機関とスワップ取引

■ 第2分冊 スワップの評価とリスク管理

IV 金融商品の理論価格計算

1. 金融商品の価格算出の考え方
2. 現在価値算出の実務的手法

V スワップ・プライシングの基本的な考え方

1. スワップの「価格」の特徴
2. 具体的なディスカウント・ファクターの計算方法
3. 各種スワップの評価例
4. 異通貨キャッシュフローの現在価値の求め方

VI スワップ取引のリスク分析

1. スワップ取引の金利リスクとそのヘッジ
2. 金利スワップのリスクの性質

■ 第3分冊 カウンターパーティリスク/スワップ周辺取引

VII スワップ取引の信用リスク(カウンターパーティリスク)

1. スワップ取引の信用リスクの性質
2. カウンターパーティリスクへの対応
3. CVAとDVA

VIII その他のスワップ/スワップ関連取引

1. 各種スワップ取引
2. クレジット・デフォルト・スワップ(CDS)
3. キャップ/フロア取引
4. スワップション

S2 Excelファイル付き スワップ業務Σ2級コース

通信教育講座

ねらいと特色

- ☑ スワップの時価評価の考え方と技法、リスク管理手法など、これ一冊でスワップ取引がマスターできます。
- ☑ Excelファイルに収められた豊富な計算例や演習で、非常に実践的かつ具体的にスワップ取引の理論と仕組みが理解できるようになっています。

対象者

- ☑ スワップ取引の理論や仕組みをしっかりと理解したい方
- ☑ 金融機関のデリバティブ業務に携わる方
- ☑ デリバティブ関係のシステム開発に携わる方

カリキュラム

■ 第1分冊 金利・債券の基本知識とスワップ・プライシングの考え方

I スワップの基礎知識(確認事項)

1. スワップ取引の種類
2. 変動金利の指標とスワップレートについて
3. 金利スワップの例

II スワップを理解するための債券数理

1. 単利と複利
2. 債券利回り
3. フォワード・レート
4. 利付債と割引債の関係

III スワップ・プライシングの基本となる考え方

1. スワップの時価の捉え方
2. キャッシュフローの時価の考え方
3. スワップ評価で使用するディスカウント・ファクターの求め方

■ 第2分冊 スワップ・プライシングの実践と仕組商品の分析

I 変動金利の評価方法

1. 変動金利の現在価値
2. フォワードレートをを使った変動金利の現在価値計算

II 金利スワップを利用した仕組商品の構造

1. スワップを利用した仕組商品について
2. 商品例1～ステップ・アップ型金融商品
3. 商品例2～市場金利が下がると受取金利が増加する商品

III 異通貨間のスワップ

1. 異通貨間のスワップの評価
2. 元本交換がある場合の通貨スワップの分析

IV 異通貨間のスワップを利用した仕組商品の構造

1. デュアル・カレンシー債
2. リバース・デュアル・カレンシー債

■ 第3分冊 スワップのリスク管理の実践と周辺取引

I スワップ取引の市場リスク

1. 市場リスク管理とは
2. 既存金利スワップのリスク管理方法について
3. ヘッジの考え方とヘッジ・ポートフォリオの構築

II スワップの信用リスクとスワップ評価の新しい潮流

1. スワップの信用リスクとは
2. スワップ評価の精緻化
3. スワップの信用リスクへの対応

III スワップ取引の周辺取引

1. スワップション取引
2. スワップションを利用した仕組商品の紹介
3. キャップ/フロア取引
4. キャップ/フロア取引の利用法の例

仕組み債の特徴と仕組みはこれでバッチリ！

難易度 ★★★★★

SG 仕組み債・外債超入門コース

通信教育講座

④ 課目：金融 単位：AFP 7.5 / CFP 15.0

受講期間 3か月

テキスト 3冊

添削課題 3回

受講料 22,000円(税込)

ねらいと特色

- ✓ 各種の仕組み債の特徴、リスクの所在、裏側で使われているデリバティブなど、仕組み債を扱うすべての金融パーソンに参考になる内容です。
- ✓ 難しい数式などは使わず、具体的な商品例をとって丁寧に解説しているので、どなたでも無理なく仕組み債を学ぶことができます。

対象者

- ✓ 仕組み債を扱う営業に携わる方
- ✓ 仕組み債を基礎から学びたい方

カリキュラム

■ 第1分冊

1. 債券の基本事項
2. 仕組み債とは
3. 外債の基本事項
4. 仕組み債の商品例
スワップ取引組込み型 (1)
～金利スワップ関連～

■ 第2分冊

1. 仕組み債の商品例
スワップ取引組込み型 (2)
～通貨スワップ関連～
2. 仕組み債の商品例
オプション取引組込み型 (1)
～株式オプション関連～
3. 仕組み債の商品例
オプション取引組込み型 (2)
～金利系オプション関連～

■ 第3分冊

1. 仕組み債の商品例
オプション取引組込み型 (3)
～バリアオプション関連～
2. 仕組み債の商品例
フォワード取引組込み型
3. 仕組み債の商品例
クレジット・リンク・ノート
4. 仕組み債の主な付加条項
5. 仕組み預金
6. 仕組み債商品・仕組み預金のまとめ

※ LIBOR廃止の影響と変動金利の指標について、補足資料を同封しております。

仕組み債の組成原理をコンパクトに学ぶ！

難易度 ★★★★★

SI 1か月で学ぶ仕組み債コース

eラーニング講座

④ 課目：金融 単位：AFP 5.0 / CFP 5.0

受講期間 1か月

テキスト* 1冊

テスト 1回

受講料 11,000円(税込)

※テキストはPDFダウンロード形式です
紙媒体は付属しません

ねらいと特色

- ✓ 様々な仕組み債を学び、これら仕組み債の組成原理を解明する能力養成を目指します。
- ✓ 金利リスクや為替リスク内包型の基本的な仕組みを理解することができ、クレジットリンク債や証券化についても解説しています。
- ✓ 「仕組み債の知識 Σ 2級コース」への橋渡しコースでもあります。

対象者

- ✓ 債券投資の現場にいる方
- ✓ 債券投資・トレーディングのリスク管理のご担当者
- ✓ 仕組み債を販売する営業ご担当者
- ✓ 仕組み債を含む投資ストラテジーを策定・評価する企画のご担当者

カリキュラム

■ 第1章 仕組み債の「仕組み」

1. 仕組み債とは何か
2. 仕組み債の組成

■ 第2章 金利リスク内包型の仕組み債：

固定利付債

1. 固定利付債の種類
2. コーラブル債

■ 第3章 金利リスク内包型の仕組み債：

変動利付債

1. 変動利付債の種類
2. キャップ付変動利付債
3. リバースフローター
4. CMS (Constant Maturity Swap)
フローター

■ 第4章 為替リスクの仕組み債

1. 元本リスク型：デュアル債
2. クーポンリスク型：リバースデュアル債
3. リバースデュアルのリスク要素

■ 第5章 クレジットリンク債

1. SPV（特別目的ヴィークル）を発行体とする債券
2. クレジットリンク債

■ 第6章 証券化商品

1. 証券化とは
2. 証券化商品の組成

SK 仕組み債の知識Σ2級コース

通信教育講座

受講期間 3.5か月

テキスト 3冊

添削課題 4回

受講料 28,600円(税込)

ねらいと特色

- ✓ 各種仕組み債の構造を、裏側で使われているデリバティブまで含めて解明し、何故このような商品が組成可能なのかがクリアに理解できます。
- ✓ デリバティブに関する基本知識を前提とした上で、プライシングの基本的な考え方や、商品のリスクを構成するファクターを具体的に説明しています。

対象者

- ✓ 仕組み債の組成業務に携わる方
- ✓ 「仕組み債・外債超入門コース」を学んだ方でより深い知識を得たいと考えている方

カリキュラム

■ 第1分冊 仕組み債の商品・市場概観

1. 仕組み債とは何か
2. 仕組み債の種類と特徴
3. なぜ仕組み債を発行するのか
4. 仕組み債発行のディールフロー
5. 仕組み債市場の歴史

■ 第2分冊 各種仕組み債のエンジニアリング1

1. 仕組み債のストラクチャリングの基本概念
2. スワップ組み込み型仕組み債
3. オプション知識の確認
4. 金利系オプション組み込み型仕組み債1
5. 金利系オプション組み込み型仕組み債2

■ 第3分冊 各種仕組み債のエンジニアリング2 / 仕組み債開発におけるニーズの開拓

1. 株式を原資産としたインデックスリンク債
2. 為替を原資産としたインデックスリンク債
3. クレジットを原資産としたインデックスリンク債
4. 仕組み債のリストラクチャリング
5. 仕組み債の開発
～顧客ニーズに合わせたストラクチャリング
6. おわりに
～仕組み債のストラクチャリングとは

※ LIBOR廃止の影響と変動金利の指標について、補足資料を同封しております。

SZ 証券化業務Σ3級コース

通信教育講座

受講期間 3.5か月

テキスト 3冊

添削課題 4回

受講料 25,300円(税込)

ねらいと特色

- ✓ 証券化の基本的なしくみから、商品組成上のポイント、法律的な論点まで、基礎だけでなく証券化の実務に必要な幅広い知識が身に付きます。
- ✓ 企業向け債権、個人向け債権、不動産の証券化など証券化の技術を詳しく解説。
- ✓ 証券化と「トークン化」の関係についても説明しています。

対象者

- ✓ 基礎からじっくりと証券化を学びたい方
- ✓ 証券化の機能や技術をしっかりと学びたい方
- ✓ 法律・会計を含む証券化業務に必要な幅広い知識を学びたい方

カリキュラム

■ 第1分冊 証券化の基礎

1. 証券化とは何だろう
デット、エクイティ、「紙」/債権の流動化/譲渡と信託/「ファンド」との相違/証券化とトークナイゼーションなど
2. 証券化の当事者・関係者とその機能
オリジネーター/特別目的会社 (SPC) /サービサー/格付機関/アレンジャー/法律事務所/監査法人/会計事務所など
3. 証券化の機能
資金調達/リスク分散/オフバランス化/株主資本の有効活用/流通性・流動性/証券化のデメリットなど
4. 証券化の基礎的技術
優先・劣後構造/匿名組合/トランシェ分け/外部信用補完/有担保債務/貸付信託・投資信託など
5. 「トークン化」と証券化
ブロックチェーンとトークン/トークン化が目指すもの/「デット」か「エクイティ」か

■ 第2分冊 証券化を理解するための知識

1. 証券化の基盤となる民法の基礎知識
対抗要件/債権譲渡/抵当権と所有権留保/保証と求償権/将来債権など
2. 倒産法とSPCに関する基礎知識
真正譲渡と第三者対抗要件/SPCと倒産法/株式会社と合同会社/倒産隔離/慈善信託とタックスヘイブン/一般社団法人・一般財団法人など
3. 証券化の基盤となる会計上の基礎知識
支配の移転/財務構成要素アプローチ/譲渡対価
4. 証券化を取り巻くその他の法律・制度
資産流動化法/特定目的信託/弁護士法/サービサー法/ノンバンク社債法
5. 裏付資産の分析の基礎
大数の法則/動態的データと静態的データ/静態的資産と動態的資産/ストレスシナリオ/格付け分析の限界

■ 第3分冊 証券化の技術と応用

1. 資金調達の技術
時間的トランシェ分け/元本償還の形態/シーケンシャルとプロラタ/デフォルトトラップ/ABCP/ABLと信託借入など
2. 企業向け債権の証券化
バランスシートCLO/BISとリスク・ウエイト/シンセティックCDO/保証とクレジットデリバティブ/リーマン・ショックの教訓など
3. 個人向け債権の証券化
自動車ローン/分割払い債権/クレジットカード/消費者金融/住宅ローン
4. 不動産の証券化
CMBSと不動産/コンデュイット型CMBS/ノンリコースローン/REITに代表されるエクイティ型不動産証券化など
5. その他資産と証券化技術の応用
実物資産の証券化/オペレーティングリースの証券化/買収資金の調達/企業証券化

クレジット・デリバティブを実務的に学べる

難易度★★★★☆

CD クレジット・デリバティブΣ3級コース

通信教育講座

受講期間 3.5か月

テキスト 3冊

添削課題 4回

受講料 25,300円(税込)

ねらいと特色

- ☑ クレジット・デリバティブの基本的なしくみから、法律的な論点、ディーリングへの利用など、実務に必要な知識を総合的に学ぶことができます。
- ☑ 数理的なプライシングの議論などは含まれませんが、一般の金融パーソンが必要とするクレジット・デリバティブに関わる知識を効率的に学ぶことができます。

対象者

- ☑ 実務的な視点からクレジット・デリバティブを学びたい方
- ☑ クレジット・デリバティブ業務に必要な知識を幅広く学びたい方

カリキュラム

■ 第1分冊 クレジット・デリバティブを理解するためのクレジット商品の基本

1. クレジット・リスク
2. 格付
3. クレジット・リスクの管理と自己資本規制
4. 債券取引とクレジット・リスク
5. ABSとクレジット・リスク

■ 第2分冊 クレジット・デリバティブの基礎

1. クレジット・リスクの転嫁手法
2. クレジット・デフォルト・スワップ(CDS)
3. CDSの価格形成
4. 特殊なクレジット・デリバティブ
5. ストラクチャード・ファイナンスとクレジット・デリバティブ

■ 第3分冊 クレジット・デリバティブの実際と活用

1. CDSとドキュメンテーション
2. トレーディングの基礎
3. 裁定取引戦略
4. 金融取引とクレジットのオプション性

※ LIBOR廃止の影響と変動金利の指標について、補足資料を同封しております。

EB 1か月で学ぶ「はじめての金融英語」コース

eラーニング講座

課目：金融 単位：AFP 6.0 / CFP 6.0

受講期間 2か月
音声データ 約1時間04分
テキスト 1冊
テスト 1回
受講料 11,000円(税込)

ねらいと特色

- ✓ 経済・金融に関する用語が英語で分かります。
- ✓ 英語ニュースとその対訳を見開きで掲載し、音声データを繰り返し聴くことができます。
- ✓ 金融英語の学習に役立つ読み物、お役立ち情報も満載です。

対象者

- ✓ はじめて金融英語に触れる方
- ✓ 英文のマーケットニュースを読みたい方
- ✓ 金融機関に入社した方、または、これから入社される方
- ✓ 金融機関への就職を考えている方

カリキュラム

■ 1. Macro Economy (マクロ経済)

- National Economy (国民経済)
- Fiscal Policy (財政政策)
- Monetary Policy (金融政策)

■ 2. Financial Products (金融商品)

- Stock (株式)
- Bond (債券)
- Foreign Exchange (外国為替)
- Derivatives (デリバティブ)

■ 3. Sustainable Investing (サステイナブル投資)

- SDGs & ESG

■ 4. Financial Institution (金融機関)

- Deposit (預金)
- Loan and Credit (ローンとクレジット)
- Asset Securitization (証券化)
- Investment Banking (投資銀行)
- Financial Crisis (金融危機)
- Financial Regulation (金融規制)
- Financial Innovation (イノベーション)

■ 5. Corporate Finance (企業金融)

- Financial Analysis (財務分析)
- Risk Control (リスク管理)
- IPO (新規上場)
- Start-up (ベンチャー企業)

EF 英語で学ぶ金融基礎知識コース

通信教育講座

課目：金融 単位：AFP 7.5 / CFP 15.0

受講期間 3.5か月
音声データ 約3時間21分
テキスト 3冊
添削課題 4回
受講料 22,000円(税込)

ねらいと特色

- ✓ 左ページが英語ニュース、右ページがその対訳という構成です。音声データをスマートフォンなどに入れて繰り返し聴くことができます。海外金融市場で活躍した講師の体験談などの読み物も豊富にあります。
- ✓ 金融パーソンとして押さえておくべき、金融と英語の基礎学習が両立できます。
- ✓ ネイティブ講師による音声データをダウンロードできます。

対象者

- ✓ 英文マーケットニュースの読解力を身に付けたい方
- ✓ 米国株投資にあたり、英単語で困った方
- ✓ 海外店のスタッフとコミュニケーションをとる時に、専門用語で困った方

カリキュラム

■ 第1分冊

I Macro Economy

1. National Economy
2. Fiscal Policy
3. Monetary Policy
4. New Capitalism

II Financial Products

5. Stock
6. Bond
7. Foreign Exchange
8. Derivatives

■ 第2分冊

III Financial Institution

9. Deposit
10. Loan & Credit
11. Asset Securitization
12. Investment Banking
13. Private Equity
14. Financial Crisis
15. Financial Regulation
16. Financial innovation

■ 第3分冊

IV Corporate Finance

17. Financial Analysis
18. Investment
19. Risk
20. Risk Control
21. Structured Finance
22. M&A and Restructuring
23. IPO and New Venture
24. Corporate Governance

金融ベーシックを「英語で」学ぶ！

難易度 ★★☆☆☆

EK

“First Steps for Financial Professional” Series

eラーニング講座

FP 課目：金融 単位：Partごと（下記参照※）

当講座は
Partごとに受講する
こともできます

ねらいと特色

- ☑ グローバルで活躍するための「金融ベーシック」を学べる講座です。
- ☑ シグマインベストメントスクールの新入社員・新規配属者向け研修のノウハウを凝縮した内容です。
- ☑ 金利、株価・為替相場、日銀の金融政策、各種金融マーケットの仕組みと具体的機能、金利の計算方法とデリバティブの基本を英語で学ぶことが出来ます。
- ☑ グローバル採用を実施している法人・団体のお客さまもご利用いただけます。

対象者

- ☑ 経済、各種マーケットに関する英語表現を身につけたい方
- ☑ 英語による様々なマーケットニュースや情報ベンダーのデータを利用される方
- ☑ グローバル採用の新入社員、新規配属者の方
- ☑ 海外での勤務を予定されている方

各パートのご紹介

Part 1: Economy

金融を学習するスタートとして、「経済とは何か」を学びます。景気とは何を指しているのか、ニュースでよく見かけるGDPとは具体的に何か、景気をよくするために政府や日銀は何をするのかということをお概観します。また外国との取引で重要な意味を持つ為替レートについても学びます。

Part 2: Financial Markets

金融市場全体を概観する内容です。短期マーケット、長期マーケット（債券・株式）、外国為替と市場全体を網羅しており、つまずきやすい部分や、注意すべき部分にフォーカスしながら解説しています。また、実際の商品や取引事例を紹介しながら、具体的にイメージできるよう配慮しています。

Part 3: Trading

債券数理の基本とデリバティブの基礎およびリスク管理を学びます。債券数理はすべてのファイナンス理論の基本であり、金融に携わる者すべてが理解すべき内容として、ポイントを丁寧に説明します。デリバティブは、一般の金融商品とはやや異なる性質を持つので、スワップ、フューチャー、オプションそれぞれの勘所を基本から解説します。

ラインナップ / 教材構成 / FP 継続教育

科目名	受講期間	受講料 (税込)	テキスト	テスト	FP 課目・認定単位 (AFP / CFP)
First Steps for Financial Professional	3か月	61,600円	3冊	3回	※
First Steps for Financial Professional Part 1: Economy	3か月	20,900円	1冊	1回	金融 4.5 / 4.5
First Steps for Financial Professional Part 2: Financial Markets	3か月	20,900円	1冊	1回	金融 4.5 / 4.5
First Steps for Financial Professional Part 3: Trading	3か月	20,900円	1冊	1回	金融 4.5 / 4.5

<修了要件>

すべてのPartをまとめて受講する場合、修了テストはすべてのPartで70点以上取得する必要があります（平均70点以上ではありません）。
※FP認定単位は、Part1～Part3それぞれを修了した時点で、各パートの単位が付与されます。

カリキュラム

Part 1 : Economy --- Macroeconomics, Monetary Policy and Exchange Rate

- Chapter 1. How to understand the economy
- Chapter 2. Economic policies of the government
- Chapter 3. International economy and financial markets

Part 2 : Financial Markets --- Short-Term / Long-Term Markets and Foreign Exchange

- Chapter 1. The basic of financial markets
- Chapter 2. Short-term financial markets
- Chapter 3. Long-term financial markets (1) Bond markets
- Chapter 4. Long-term financial markets (2) Stock markets
- Chapter 5. Foreign exchange market

Part 3 : Trading --- Interest Rate, Bond, Derivatives and Risk Management

- Chapter 1. Foreign Exchange Market
- Chapter 2. Interest Rate and Bond Market
- Chapter 3. Futures and Options
- Chapter 4. Financial Risk Management

※ 本コースのテキストを使用した研修プログラムもご用意しています。（法人・団体のお客さま対象）

豊富な計算例で、基本とポイントを押さえる！

難易度 ★★☆☆☆

FH 不動産評価入門コース

通信教育講座

FP 課目：不動産 単位：AFP 7.5 / CFP 11.5

受講期間 2.5か月

テキスト 2冊

添削課題 3回

受講料 16,500円(税込)

ねらいと特色

- ✓ 不動産評価の基本的な考え方と具体的な手法を学べます。
- ✓ 具体的な計算例で、実務的に不動産評価を学べます。

対象者

- ✓ 金融機関で不動産に関わるビジネスに携わる方
- ✓ 不動産評価の基本とポイントを実務的に学びたい方

カリキュラム

■ 第1分冊

「調査」と「査定」の基礎的知識

I 対象不動産の確定と確認

1. 不動産の確定
2. 不動産の確認
3. 不動産登記簿謄本の見方

II 不動産の利用と制限

1. 用途地域
2. 建ぺい率と容積率
3. 実際の都市計画の例
4. 道路について

III 土地の公的評価制度の性格と意義

1. 公的評価の種類と意義
2. 公的評価の水準
3. 公的評価の調べ方

IV 評価手法を適用するための基礎知識

1. 価格形成要因
2. 価格時点
3. 用途的地域
4. 最有効使用

V 評価手法の概要

1. 評価手法の種類と意義
2. 取引事例比較法
3. 原価法
4. 収益還元法

■ 第2分冊

取引事例比較法・原価法・収益還元法

I 取引事例比較法

1. 取引事例比較法の適用
2. 地価公示価格、基準地価格との比較
3. 格差の要因と格差率

II 原価法

1. 再調達原価
2. 減価修正

III 収益還元法

1. 総収入・総費用等の項目決定
2. 直接還元法の適用の仕方
3. DCF法の適用の仕方

「顧客視点のコンプライアンス」の基本が分かる

難易度 ★☆☆☆☆

CP 金融法務コンプライアンス 基礎コース

eラーニング講座

FP 課目：倫理 単位：AFP 7.5 / CFP 11.5

受講期間 3か月

動画 約5時間

テキスト 1冊

テスト 1回

受講料 16,500円(税込)

ねらいと特色

- ✓ 誰もが知っておくべき金融法務、金融法制の枠組み、基本概念を正しく身につけることができます。
- ✓ 豊富なケーススタディを使って、膨大な金融法制の中で必要かつ重要なポイントを効率的に学ぶことができます。
- ✓ 現在、強く求められている「顧客視点のコンプライアンス」の基本を習得できます。

対象者

- ✓ 金融機関にお勤めの方。特に、新入社員や内定者の方
- ✓ 金融機関をとりまく法制度・規制の概要を知りたい方
- ✓ ファイナンシャルプランナー（FP）の方

カリキュラム

■ 第1部 現代の金融業務とコンプライアンスの関係

1. 金融機関の仕事とその特質とは
2. なぜコンプライアンスが極めて重要なのか
3. 金融法規制のフレームワーク（取引法務と規制）
4. コンプライアンスの真の意味（高い倫理観と顧客視点）
5. ケース・スタディ

■ 第2部 金融取引法務の基礎

6. 取引の基本関係
7. 取引の基礎概念
8. 抵当権の実行と競売



■ 第3部 金融機関に対する規制・監督の仕組み

9. 免許・認可・登録
10. 監督・検査（行政処分、報告命令、立入検査）
11. 適合性の原則・説明義務
12. 禁止行為
13. 監督指針、金融検査マニュアル
14. 新たな監督・検査の手法

■ 第4部 金融業務共通の重要な法規制

15. 顧客情報や機密情報管理（業法・個人情報保護法）
16. マネーロンダリング等の防止・反社会的勢力との関係遮断
17. インサイダー取引規制と法人関係情報の管理
18. 金融機関による優越的地位の濫用等の防止

新しい資産運用の提案。「資産形成コンサルタント」資格対応

難易度 ★★☆☆☆

AG 顧客本位の「ゴールベース資産管理」コース

eラーニング講座

④ 課目：倫理 単位：AFP 7.5 / CFP 15.0

受講期間 3か月
 動画 約4時間
 テキスト 1冊
 テスト 1回
 受講料 15,400円(税込)

ねらいと特色

- ☑ 顧客のライフプラン実現を支援するポートフォリオ提案の基礎を学べます。
- ☑ 資産形成における新しい考え方、ノウハウ、金融商品や税制の知識など、実践的かつ盛りだくさんの内容です。
- ☑ 様々なケーススタディを通じて、顧客ニーズに適切に応えるヒントが得られます。
- ☑ 新資格「資産形成コンサルタント」に対応したプログラムです。

対象者

- ☑ 金融機関・不動産業界にお勤めの方
- ☑ 資産運用に関心があり、より良い知識を得たい投資家
- ☑ 近いうちに社会人になる学生の方
- ☑ ファイナンシャルプランナー（FP）の方
- ☑ 「資産形成コンサルタント」の合格を目指す方

カリキュラム

- 第1部 新しい資産運用
 - 01. 顧客を知る
 - 02. 顧客と信頼関係を築く
 - 03. 資産運用サービスの必要性
 - 04. ゴールベース資産管理
 - 05. ライフステージ別にみたゴールベース資産管理
- 第2部 資産運用の基本
 - 06. アセット・アロケーション（運用資産の配分）
 - 07. アセット・ロケーション（運用資産の置き場所）
- 第3部 証券投資の知識（その1）
 - 08. 金融資産の3つの観点
 - 09. リターンとリスク
 - 10. 資産運用とインフレーション
 - 11. 資産運用と金融・財政政策
 - 12. 資産運用に役立つ、ちょっとした知識
- 第3部 証券投資の知識（その2）
 - 13. 必ず知っておきたい株価指標
 - 14. 債券投資の基礎
 - 15. 債券投資のリスクと格付け
- 第4部 証券投資の知識（その2）
 - 16. 外国証券の基礎
- 第5部 ライフステージに応じた将来のための提案ノウハウ
 - 17. 為替の影響を知る
 - 18. 外国証券投資の実践
 - 19. 投資信託の基礎
 - 20. 投資信託を詳しく知る
 - 21. ケーススタディ1（若年層の社会人）
 - 22. ケーススタディ2（中小企業のオーナー）
 - 23. ケーススタディ3（公務員・教員の退職者）

■ 基本テキスト ■

日本証券アナリスト協会 編「資産形成コンサルタント」

いつでもアクチュアリー試験の勉強をスタート

難易度 ★★☆☆☆

ACEM アクチュアリー1次試験対策入門コース「数学」

eラーニング講座

受講期間 3か月
 動画 8時間41分
 テキスト 1冊
 テスト 1回
 受講料 32,780円(税込)

ねらいと特色

- ☑ アクチュアリー数学の基礎となる確率を一気に勉強できます
- ☑ 重要なポイントが何かを明確に解説
- ☑ 問題を解きながら実力アップを図ります

対象者

- ☑ アクチュアリー試験に興味がある方
- ☑ どこからアクチュアリー試験の勉強を始めるか悩んでいる方
- ☑ 基本的な確率の勉強を再度復習する必要がある方
- ☑ アクチュアリーに限らず、確率・統計の勉強を始めた方

カリキュラム

- 1. 確率と確率変数
 - ・確率変数と確率分布
 - ・期待値、分散、共分散の性質と計算
- 2. 代表的な離散確率分布
 - ・ベルヌーイ分布
 - ・二項分布
 - ・幾何分布
 - ・離散一様分布
 - ・ポアソン分布
 - ・超幾何分布
- 3. 代表的な連続確率分布
 - ・準備(ガンマ関数、ベータ関数、色々な積分公式)
 - ・一様分布
 - ・正規分布
 - ・指数分布
 - ・ガンマ分布
 - ・ベータ分布
 - ・カイ二乗分布
 - ・t分布
 - ・F分布
- 4. 重要な公式と法則
 - ・確率母関数とモーメント母関数
 - ・大数の法則と中心極限定理
- 5. 多次元分布
 - ・同時確率密度関数と確率分布の和、差、積、商、変換
 - ・多項分布
 - ・二次元正規分布
 - ・応用と補足

合否を分ける、デリバティブ・計算問題を完全攻略！

GA1 一種外務員最短合格コース

eラーニング講座

FP 課目：金融 単位：AFP 7.5 / CFP 15.0

受講期間	3か月
動画	約5時間
テキスト	1冊
テスト	1回
受講料	11,550円(税込)

ねらいと特色

- ✓ 合否を分ける「デリバティブ」「計算問題」を完全攻略
- ✓ 二種合格からblankがある方、直接一種合格を目指す方にも親切的な講義内容
- ✓ シグマオリジナルの模擬試験（5回分）

対象者

- ✓ 金融機関従事者で資格未保有の方
- ✓ 金融機関内定者、就職を希望される方
- ✓ 金融商品に興味がある方
- ✓ 金融商品取引法に興味がある方

教材構成

■ 1. 講義「要点解説」「計算問題特訓」
本講座の講義はすべて動画でご提供します。440点満点の一種試験の約5割が二種試験と共通する範囲から出題されていますが、復習と同時に一種試験特有の出題傾向について解説します。計算問題の解き方についても再確認できます。
一種特有の出題範囲である、信用取引およびデリバティブ取引（先物取引・オプション取引など）の各科目について、出題が予想されるパターンを徹底的に解説します。

苦手意識がある方でも克服し得点源にできるように、密度が高い講義内容となっています。（収録時間）4時間14分

■ 2. オリジナルテキスト・講義資料
本講座のために書き下ろしたテキストです。驚くほどのコンパクトな分量で、無駄なく合格点に到達できる力が身につきます。（分量）396ページ、1冊

■ 3. 確認問題
学習がある程度進んだら、簡単な○×問題を解いて、知識を定着させましょう。（分量）47問

■ 4. 模擬試験
シグマオリジナルの予想問題です。本試験と同じ出題形式、問題数で5回分をご用意しています。一発合格のため、繰り返しチャレンジしてください。（分量）100問×5回分
70%以上の得点で合格

必勝！ 最短攻略法、教えます！

GA2 二種外務員最短合格コース

eラーニング講座

FP 課目：金融 単位：AFP 7.5 / CFP 15.0

受講期間	3か月
動画	約3時間
テキスト	1冊
テスト	1回
受講料	11,550円(税込)

ねらいと特色

- ✓ 合格に必要な項目に特化し集中して学べる、学習効率の高い内容
- ✓ 合否を分ける「計算問題」を完全攻略
- ✓ シグマオリジナルの模擬試験（5回分）

対象者

- ✓ 金融機関従事者で資格未保有の方
- ✓ 金融機関内定者、就職を希望される方
- ✓ 金融商品に興味がある方
- ✓ 金融商品取引法に興味がある方

教材構成

■ 1. 講義「要点解説」「計算問題特訓」
動画でご提供します。1本あたりの講義時間はおおむね20分以内で、通勤・通学や移動途中にも無理なく学習していただけるよう工夫しています。また、合否に直結する計算問題について、出題が予想されるパターンを徹底的に解説します。計算問題が苦手な方でも克服し得点源にすることが可能です。（収録時間）2時間40分

■ 2. オリジナルテキスト・講義資料
本講座のために書き下ろしたテキストです。驚くほどのコンパクトな分量で、無駄なく合格点に到達できる力が身につきます。（分量）396ページ、1冊

■ 3. 確認問題
学習がある程度進んだら、簡単な○×問題を解いて、知識を定着させましょう。（分量）20問

■ 4. 模擬試験
講師が作成したシグマオリジナルの予想問題です。本試験と同じ出題形式、問題数で5回分をご用意しています。一発合格のため、繰り返しチャレンジしてください。（分量）70問×5回分
70%以上の得点で合格

準1級試験のインプット講義

難易度 ★★★★★

TK1S 統計検定® 準1級 基本レクチャー

eラーニング講座

受講期間	3か月
動画	約11時間
テキスト	1冊
テスト	1回
受講料	41,250円(税込)

ねらいと特色

- ✓ 統計検定®準1級の再重要論点を抽出した講義
- ✓ 的確にポイントを押さえた明快な解説
- ✓ 膨大な試験範囲を体系的に効率よく学ぶことができます

対象者

- ✓ 統計検定®準1級短期合格を目指す方
- ✓ 統計検定®準1級試験の勉強法に悩んでいる方
- ✓ 時間と場所を選ばず、何度も繰り返し学習したい方
- ✓ データサイエンスに興味がある方

カリキュラム

- | | | |
|--|--|---|
| <p>■ 1. 回帰分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・線形回帰 ・非線形回帰 ・質的回帰 <p>■ 2. 分散分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一元配置分散分析 ・二元配置分散分析 <p>■ 3. 主成分分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡単な説明 ・定式化 | <ul style="list-style-type: none"> ・データを標準化した主成分分析 ・寄与率 ・主成分負荷量 ・表の見方 ・主成分得点 <p>■ 4. 判別分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・線形判別関数 ・マハラノビスの距離 ・正規分布のベイズ判別 ・サポートベクターマシン (SVM) ・SVMの多次元化による非線形判別とカーネル法 | <p>■ 5. クラスター分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な考え方 ・クラスター間の距離 ・ウォード法 <p>■ 6. 因子分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1因子モデル ・2因子モデル ・因子の回転 ・共通性、独自性、寄与率 ・因子分析の出力の表 ・因子得点 |
|--|--|---|

1級試験のインプット講義

難易度 ★★★★★

TK1P 統計検定® 1級 基本レクチャー

eラーニング講座

受講期間	3か月
動画	約7時間
テキスト	1冊
テスト	1回
受講料	48,950円(税込)

ねらいと特色

- ✓ 統計検定®1級の再重要論点を抽出した講義
- ✓ 大事なポイントは何かを明確にする解説
- ✓ 豊富な練習問題を解きながら、着実に実力アップ

対象者

- ✓ 統計検定®1級短期合格を目指す方
- ✓ 統計検定®1級試験の勉強法に悩んでいる方
- ✓ 時間と場所を選ばず、何度も繰り返し学習したい方
- ✓ 統計検定®1級の勉強をすぐに開始したい方

カリキュラム

- | | |
|---|--|
| <p>■ 第1章 確率と確率変数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事象と確率 ・確率変数、確率分布、期待値、分散共分散 ・確率母関数、モーメント母関数、大数の法則、中心極限定理 <p>■ 第2章 いろいろな分布と統計量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母集団と統計量 ・最尤推定量(値) ・有効推定量とクラメール・ラオの不等式 | <ul style="list-style-type: none"> ・色々な分布 ・正規母集団の区間推定 ・確率分布の和・差・積・商と変換 ・カイ二乗分布 ・t分布 ・F分布 ・多次元(2次元)正規分布 <p>■ 練習問題の解説</p> |
|---|--|

PBP プライマリー PB 資格取得コース

eラーニング講座

FP 課目：相続 単位：AFP 7.5 / CFP 15.0

受講期間	6か月
動画	約15時間
テキスト	3冊
模擬試験	2回分×3単位
受講料	44,000円(税込)

ねらいと特色

- ✓ 実務に精通した一流の講師陣による、ポイントを押さえた動画による講義
- ✓ シグマオリジナルの確認問題、用語問題、模擬試験（全2回）
- ✓ 相続、信託、事業承継も詳しく解説、シニアPBも目指せるカリキュラム

対象者

- ✓ 富裕層ビジネス、M&A業務に従事するスタッフ、管理職、指導者の方
- ✓ 金融機関の窓口担当者や顧客担当渉外員の方
- ✓ FP資格や証券アナリスト資格をお持ちの方
- ✓ 将来、シニアPB資格の合格を目指す方
- ✓ 弁護士、税理士、公認会計士の方

カリキュラム

- 1. 顧客とのかかわりと職業倫理・行為基準
 - ・顧客とのかかわり
 - ・ファミリービジネスの特徴とガバナンス
 - ・職業倫理・行為基準
- 2. 資産の運用
 - ・財産状況の把握
 - ・金融資産の運用：ポートフォリオ理論 / 債券 / 株式 / 投資信託 / 外国為替 / デリバティブ / オルタナティブ投資
 - ・不動産の運用：土地の有効活用 / 収益不動産 / 投資判断指標 / ファイナンス
- 3. 資産の承継・管理
 - ・相続の法務：遺産分割協議 / 遺言
 - ・相続の税務：相続税 / 贈与税
 - ・納税資金対策
 - ・信託を活用した資産の管理と成年後見制度
- 4. 事業の承継
 - ・事業価値源泉の把握と企業価値評価
 - ・事業の承継（親族内）：自社株式評価 / 自己株式の取得・処分 / 持株会社スキーム
 - ・事業の承継（親族外）：MBO / M&A

使用テキスト

日本証券アナリスト協会が指定するテキストを使用します。
 本コースには下記テキストが付属します。
 ★「新プライベートバンキング」
 （第1分冊～第3分冊）
 日本証券アナリスト協会 編集

※ 受講期間を6か月間延長できる「再受講プラン」もご用意しています。

PBS シニアPB資格取得コース (総合提案書作成演習)

オンライン講座

受講期間	3か月
講義	約2時間30分
テキスト	2冊
模擬試験	1回分
受講料	99,000円(税込)

ねらいと特色

- ✓ シニアPBの筆記試験（総合提案書）への対策を行います。
- ✓ eラーニング講座「プライマリー PB 資格取得コース」を担当している講師が、シニアPBに求められる総合提案書の作り方や着眼点を指導します。
- ✓ オリジナルの添削課題を使いながら、one to one による講義を行います。（団体受講にも対応可）

対象者

- ✓ シニアPBの受験資格をお持ちの方（プライマリー PB 資格保有者、CMAの方）
- ✓ PB業務に従事する管理職、指導者
- ✓ 富裕層ビジネス教育担当者、担当役員
- ✓ 企業経営者、コンサルタント
- ✓ 証券アナリスト、税理士、公認会計士、弁護士の資格をお持ちの方

カリキュラム

- 1. 基本講義前の予習
 基本講義をスムーズに始めるために、解説映像（およそ1時間20分）および予習用資料を使って総合提案書の構成や作り方を確認します。
- 2. 基本講義（1.5時間）
 Web ミーティングツールでのone to one 講義。PB ビジネスにおける総合提案書の位置づけから始まり、総合提案書作成のポイントを解説します。これまでのシニアPB試験の出題傾向を分析し、出題が予想されるサンプルケースを研究します。
- 3. 添削課題
 模擬試験を課しますので、期間内に総合提案書を作成し、E-mailで提出していただきます（解答期間：原則1か月）。提出された解答を講師が採点し、次の講義までに返却します。
- 4. 振り返り講義（1時間）
 採点結果を見ながら合格に向けた改善点をアドバイスするなど直前対策を行います。

使用テキスト

日本証券アナリスト協会が指定するテキストを使用します。
 本コースには下記テキストが付属します。
 ★「顧客のための 総合提案書の作り方」
 日本証券アナリスト協会 編集
 ★模擬試験（弊社オリジナル問題）

受講要領

受講の流れ

申込

学習

課題提出

成績報告

★法人のお客様を対象にお申込みをご検討いただくためのサンプルをご提供しています。請求方法につきましては、弊社HP「通信教育」にてご確認ください。個人のお客様は対象外とさせていただきます。ご了承ください。https://www.sigmabase.co.jp/correspondence/order_c.html

申込

■ 申込時期と開講時期

毎月20日までに申込された方は、翌月1日よりスタートとなります。
なお、20日が土日祝日の場合は、翌営業日が締切日になります。

■ 申込方法

下記のいずれかの方法で申込を行うことができます。

法人申込	個人申込
・eメール 弊社HPにあるエクセルのフォーマットに必要事項を入力の上、メール添付にて送信してください。 ・FAX 本案内書の巻末にある、「法人申込用」の申込書をご使用ください。	・WEB 弊社HPの講座一覧より希望講座をご選択の上、お申込ください。

※ 講座一覧URL

<https://www.sigmabase.co.jp/correspondence/courselist.html>

※ エクセルフォーマット掲載URL

https://www.sigmabase.co.jp/correspondence/order_c.html

■ 支払方法

法人申込	個人申込
申込受付後、担当者様宛てに請求書をお送り致しますので、御社の「締め・支払い」規程に基づき、下記のいずれかの口座にお振込ください（受講スタート後でも結構です）。	申込完了後、受講スタート前月の23日までに、所定の受講料を下記のいずれかの口座にお振込ください（クレジットカード決済可）。

- ・みずほ銀行 日本橋支店 (普) 2167880
 - ・三菱UFJ銀行 日本橋中央支店 (普) 1089868
 - ・三井住友銀行 日本橋支店 (普) 7718536
- <口座名義：シグマベースキャピタル株式会社>
※振込手数料はご負担願います。

学習

■ 教材の到着時期

学習教材は、受講スタート月の前月25日から末日の間に、一括でお届け致します。

配送時にご不在の場合は、「不在連絡票」が投函されますので、記載内容に従ってお受け取りください。

■ 内容に関する質問方法

内容に関する質問は、下記の方法で行ってください。

1～2週間を目途に回答致します。

※電話やeメールでの受付は致しかねます。

通信教育	eラーニング
弊社HPの通信教育「質問票」受付より送信、もしくは各テキスト巻末の「質問票」をご郵送ください。	eラーニングシステムの機能である「質問する」ボタンよりお願い致します。

課題提出

■ 提出方法

各講座には、学習効果の測定を目的とした課題が付属しています。下記の要領にしたがって提出してください。

通信教育	添削課題には締切日があります。それぞれの締切日に間に合うように提出してください（提出日はアップロード日もしくは消印有効になります）。また、提出期限を過ぎた答案についても、受講開始から1年以内であれば採点を致します。但し、下記修了要件は満たしていないため、修了証は発行されませんのでご注意ください。
eラーニング	テストは受講期間内しか受験できませんが、期間内であれば繰返し受験することができます。受講期間内に下記修了要件を満たすようにしてください。

■ 修了要件（合格基準）

以下の2つの条件を満たすと合格となります。

合格者には修了証を発行致します。

通信教育	eラーニング
①すべての添削問題を期限内に提出する ②添削問題の平均点が70点以上である	①コンテンツに含まれるすべての章を閲覧する ②修了テストの得点が70点以上である

成績報告の取扱い等

■ 原則内容

法人申込をされた場合の取扱いは下記を原則とします。

他の内容をご希望の場合は、お申込時に併せてご連絡ください。

教材の送付先	申込書明記の「自宅」または「勤務先」	
添削答案の返却先	アップロードされた場合： 各受講生が入力したメールアドレスに返信 郵送でご提出の場合： 各受講生が答案用紙に明記した返却先宛に郵送	
受講期間	弊社設定の受講期間	
修了要件	弊社設定の修了要件（上記）	
成績報告	頻度	全受講生の受講期間終了後、1回
	時期	全受講生の受講期間終了から2週間程度
	報告先	申込書明記の「成績報告責任者」様宛に郵送
	報告内容	氏名、提出日、得点、修了の有無 など
修了証	上記、教材の送付先に郵送	

■ Web成績報告システム「SuperGrace」について

SuperGraceをご利用頂くことで、受講生の最新受講状況をいつでもWebサイト上で照会することができます。ご利用は無料です（インターネット通信料等は別途必要）。なお、SuperGraceをご利用頂く場合、成績報告の取扱いが上記原則的な取扱いと下記の点で異なります。

成績報告	頻度	成績データの更新は毎月15日頃（月1回） 郵送による報告はなくなります
	時期	
	報告先	

詳細は下記HPをご覧ください。

<https://www.sigmabase.co.jp/correspondence/supergrace.html>

個人情報の取扱いについて

2024年7月1日改訂

1. 事業者の名称

シグマベースキャピタル株式会社
東京都中央区日本橋蛸殻町1-21-4 セーラー第3ビル4階 代表取締役 清水 正俊

2. 管理者（若しくはその代理人）の氏名又は職名、所属及び連絡先

個人情報保護管理者：取締役社長 荒崎 秀一 連絡先：電話 03-6222-9841

3. 個人情報の利用目的

分類	利用目的
(1) ご本人より直接書面等（ホームページや電子メール等によるものを含む。以下「書面」という）に記載された個人情報（保有個人データ）を取得する場合の利用目的	
お客様情報	教育事業におけるサービスの提供及び商品の発送、関連するアフターサービス、新商品・サービスの案内（同意を頂いた方については電子メールを含む）のため
株主情報	情報公開、配布物の送付、連絡のため
取引先情報	商談及び業務上の諸連絡、受発注業務、請求支払業務のため
従業者情報	従業者の人事労務管理、業務管理、健康管理、セキュリティ管理のため。 個人番号関係事務を処理するため。
採用応募者情報	採用業務のため
お問合せ者情報	お問合せにお答えするため
(2) ご本人より直接書面以外の方法で取得する（保有個人データ以外の）個人情報の利用目的	
お客様情報	受託業務の仕様作成、教務対応、成績報告等の業務のため
協力会社要員情報	委託先の講師プロフィールによるスキル管理のため。 個人講師の場合、個人番号関係事務を処理するため。
採用応募者情報	リクナビ・マイナビ等就職斡旋サイトや人材紹介会社からの採用応募者に対する採用選考のため

4. 保有個人データの安全管理のための措置

当社では保有個人データ（当社が取得しようとしている個人情報であって、保有個人データとして取り扱われることが予定されているものを含む）の安全管理のために以下の措置を講じています。

- ・ JIS Q 15001:2017 に沿った全社的な個人情報保護マネジメントシステムの運用
- ・ 従業員への教育、非開示義務の誓約の取得、委託先管理などの人的セキュリティ
- ・ ウイルス対策、通信の暗号化、ファイル操作ログ取得、アカウント管理など技術的セキュリティ
- ・ 室・保管庫の施錠管理、入退制限の措置などの物理的セキュリティ
- ・ 業務委託する際には業務と情報内容に照らした適切な安全管理の状況であるかの審査と契約による管理

5. 個人情報の第三者提供

当社では取得した個人情報を、ご本人の同意が得られた場合または法律に定められた例外を除き、第三者に提供しません。

6. 個人情報取扱いの委託

当社は事業運営上、お客様により良いサービスを提供するために業務の一部を外部に委託しています。業務委託先に対しては、個人情報を預けることがあります。この場合、個人情報を適切に取り扱っていると認められる委託先を選定し、契約等において個人情報の適正管理・機密保持などによりお客様の個人情報の漏洩防止に必要な事項を取決め、適切な管理を実施させます。

7. 保有個人データの開示等の請求

お客様は、当社に対してご自身の保有個人データの開示等（利用目的の通知、開示、内容の訂正・追加・削除、利用の停止または消去、第三者への提供の停止）に関して、当社「個人情報に関するお問合わせ窓口」に申し出ることができます。その際、当社はおお客様ご本人を確認させていただいたうえで、合理的な期間内に対応いたします。開示等の申し出の詳細につきましては、下記の「個人情報に関する苦情・相談窓口」までお問い合わせください。

8. 個人情報を提供されることの任意性について

お客様が当社に個人情報を提供されるかどうかは、お客様の任意によるものです。ただし、必要な項目をいただけない場合、各サービス等が適切な状態で提供できない場合があります。

9. ご本人が容易に認識できない方法による取得する場合について

クッキー（Cookies）は、お客さまが当社のサイトに再度訪問された際、より便利に当サイトを閲覧していただくためのものであり、お客さまのプライバシーを侵害するものではなく、またお客さまのコンピューターへ悪影響を及ぼすことはありません。また当社のサイトでは個人情報を入力していただく部分にはすべてSSL（Secure Sockets Layer）のデータ暗号化システムを利用しております。さらに、サイト内における情報の保護にもファイアーウォールを設置するなどの方策を採っております。ただし、インターネット通信の性格上、セキュリティを完全に保証するものではありません。あらかじめご了承ください。

10. 認定個人情報保護団体について

当社は、次の認定個人情報保護団体の対象事業者となっております。

- 認定個人情報保護団体の名称及び、苦情の解決申出先は、以下のとおりです。
- ・ 認定個人情報保護団体の名称 一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会（JUAS）
 - ・ 苦情の解決の申出先 認定個人情報保護団体事務局 苦情相談室
 - ・ 住 所 東京都中央区築地一丁目13番14号 NBF 東銀座スクエア 2階
 - ・ 電話番号 03-6264-1318 ・ 受付時間 10:00～16:00（土、日、祝日休み）
- （注）当社の商品・サービスに関する問合せ先ではございません。

【個人情報に関する苦情・相談窓口】

お客様の個人情報に関するお問合わせにつきましては、下記窓口で受付けております。

個人情報相談窓口責任者：取締役社長 荒崎 秀一

お問い合わせフォーム：<https://www.sigbase.co.jp/inquiry>



受講申込書 [法人申込用]



シグマベイスキャピタル株式会社 行
 下記のとおり「通信教育講座」に申込をします。

☑「個人情報の取扱いについて」に
 同意の上、申し込みます。
 送信先 FAX **03-6222-9842**

貴社名			スタート希望月			月
事務取扱 責任者	フリガナ 氏名			部署	役職	
	住所	〒				
		TEL () -				
請求書	〔 必要 ・ 不要 〕		宛名〔 貴社名 ・ その他 () 〕			
領収書	〔 必要 ・ 不要 〕		送付先〔 事務取扱責任者 ・ その他 () 〕			

※ 領収書が不要な場合またはご希望の記載がない場合、金融機関の振込受領書をもってこれに代えさせていただきます。
 また、領収書の再発行は致しかねますので、あらかじめご了承ください。

コース コード	FP 単位 取得希望	フリガナ 受講者氏名	教材など送付先 ※ 勤務先の場合は部署まで記載してください。
	AFP ・ CFP <small>対象講座時 のみ選択可</small>		〒 TEL () - e-Mail
	AFP ・ CFP <small>対象講座時 のみ選択可</small>		〒 TEL () - e-Mail
	AFP ・ CFP <small>対象講座時 のみ選択可</small>		〒 TEL () - e-Mail
	AFP ・ CFP <small>対象講座時 のみ選択可</small>		〒 TEL () - e-Mail
	AFP ・ CFP <small>対象講座時 のみ選択可</small>		〒 TEL () - e-Mail

※ 6名以上の一括申込の場合は、複数枚コピーの上、ご利用ください。 ※ eラーニング講座をお申込の際は、e-Mail を必ずご記入下さい。

成績報告書	〔 必要 ・ 不要 〕		頻度〔 毎回 ・ 最終1回 ・ その他 () 〕			
			方法〔 メール ・ 郵送 ・ SuperGrace 〕			
成績報告先 責任者 ※ 成績報告希望 時のみ記入	フリガナ 氏名			部署	役職	
	住所	〒				
		TEL () -				
		e-Mail				
修了証送付先	〔 受講生 ・ その他 () 〕		※ SuperGrace をご希望の際は、 e-Mail を必ずご記入下さい。			

※ 「修了要件」「成績報告」その他、シグマインベストメントスクールの原則的取扱い (P37) 以外の方法をご希望の場合は、別紙に詳細を明記の上、本申込書と併せて FAX してください。

事業案内

1. シグマインベストメントスクール事業

日本で唯一の“実践金融理論専門教育機関”として、「シグマインベストメントスクール」を企画・運営し、金融・財務のプロフェッショナルを育成しております。

■ 研究科コース（Σ1級スペシャリストレベル）

真のスペシャリストを養成するため、専門科コースの内容をより進化、発展させたコースです。

■ 専門科コース（Σ1級プロフェッショナルレベル）

デリバティブ、リスク管理、投資・資産運用、金融商品開発等のプロフェッショナルを育成する通学コースです。年4回、定期的に開講しています。

■ 通信教育・eラーニング（中級・Σ2級、初級・Σ3級、入門レベル）

基礎知識・実務応用力を養成するため、また、金融知識習得に関する様々なニーズに応えるため、40以上のコースを設けております。

■ セミナー

デリバティブ、金融リスク管理、投資、国際法務関連を中心に、幅広い領域にわたり、タイムリーなテーマのセミナーを開催しており、お客様のスキルアップにご活用いただいています。

他ではなかなか得られない深い実務的な知識を学んでいただくことを目的とした「連続セミナー」や、受講生自らツールを操作したりプログラミングを行いながら実践的・体感的に理解できる「ワークショップ」など、多彩なテーマのセミナーを開催しています。

■ 新入社員・新規配属者向け公開講座

毎年春と秋に開催しています。受講者の知識・経験に応じ、様々なコースをご用意しています。平成16年春の開講以来、社員教育の一環として、多くの金融機関、運用会社、関係企業にご利用いただいています。

■ 研修・講演の受託

経営・財務・金融・ファイナンス・リスク管理・アクチュアリー分野を中心に、オーダーメイド型の研修を積極的に実施しています。お客様のご要望（研修体系、内容、参加人数、パソコン利用の有無、時間数、予算等）を満たすよう、最善の努力をしています。

■ コンサルティングの受託

研修・教育と親和性の高いコンサルティング業務にも力を入れています。統合リスク管理体制整備や、クレジット・デリバティブ関連商品評価およびリスク管理のアドバイザリー業務など、長年の経験と専門性を生かして幅広く展開しております。

2. シグマ個人投資家スクール事業

初心者でも安心して株式などの投資を始められ、ステップ・バイ・ステップで上達できるよう、広範囲にわたり多数コースをご用意しています。

■ 投資入門スクール

■ 投資セミナー

■ FP継続教育

■ 通信教育 & eラーニング

3. 出版事業

「プロの知識を万人のものへ」・・・。

当社はこの理念の下に出版事業を展開しており、これまでに100冊以上の書籍を出版しております。

受託研修・講師派遣サービスのご案内

シグマインベストメントスクールでは、各法人様の個別のニーズに合わせた受託型研修プログラムの実施も承っております。

- ◆弊社担当者が御社のご希望をお伺いし、最適なカリキュラム案をご提示いたします。
- ◆受講生の理解度を把握するための各日毎の講義終了後の小テストの実施や、全講義終了後の本格的な確認試験の実施などにもお応えいたします。
- ◆会場として法人様指定の場所（会議室等）以外にも、弊社近隣の貸会場を使用することもできます。また、Excel やプログラミング演習等も行うことができます。
- ◆受託型の研修は新入社員・新規配属者向け、中堅社員向け、特定部署社員向け研修等を問わず、年間を通して承っております。

研修のご相談やプログラムの詳細については 弊社（03-6222-9843）までお気軽にお問合せください。

～ 研修プログラムの例 ～

1. 新入社員 / 新規配属者向け研修

- 1 「新入社員（新規配属者）向け研修」 金融ベーシックプログラム/アドバンス・コース
- 2 「金融市場・金融理論の基礎知識」研修
- 3 「金利と債券に関する基本数理」研修
- 4 「会計財務ベーシック」研修
- 5 「新入社員（新規配属者）向け研修」 コーポレートファイナンスプログラム
- 6 「新入社員（新規配属者）向け研修」 金融法務プログラム
- 7 Basic Financial Training Course (English Class)

2. 一般社員向け研修

- 1 「デリバティブ」研修（初級・基礎レベル）（中級・応用レベル）
- 2 「ストラクチャード・プロダクツ」研修
- 3 ミドル・バックオフィス社員対象 「デリバティブ（先物・オプション）」研修
- 4 「クレジットデリバティブ」研修
- 5 「ファイナンス」研修（基礎レベル）
- 6 「ポートフォリオ管理」研修（基礎レベル）
- 7 「ディスカウント・キャッシュフロー」研修
- 8 「証券化」研修
- 9 「債券投資基礎」研修 ～ 社債ポートフォリオの信用リスク管理 ～
- 10 「証券化商品のリスク管理」研修
- 11 「リスク管理基礎」「リスク管理実務」研修
- 12 「OTC（店頭取引市場）デリバティブ業務フロー」研修
- 13 「M&A 実務」研修
- 14 「財務分析と財務モデリング」ワークショップ
- 15 Corporate Finance Course (English Class)

3. ミドル/シニア社員向け研修

- 1 「市場リスクとポートフォリオ管理」研修
- 2 プロジェクトファイナンス研修（完全版/基礎編/電力編/資源編）
- 3 再生エネルギー事業のための「財務モデリング」演習
- 4 「富裕層ビジネス/富裕層顧客への提案」研修
- 5 異文化コミュニケーション研修
- 6 「シニア PB 総合提案書作成」演習

シグマベ이스キャピタル株式会社

東京都中央区日本橋蛸殻町1-21-4

セーラー第3ビル 4階

TEL 03-6222-9841 FAX 03-6222-9842

<https://www.sigabase.co.jp/>

〈通信教育のお問合せ〉

教育開発部

TEL : 03-6222-9844

Email : crpdsbc@sigabase.co.jp